

下松市総合計画後期基本計画策定のための  
下松市のまちづくり  
中学生・高校生アンケート  
結果報告書

令和7年1月

下 松 市

## 目 次

---

I. アンケート調査の概要	1
II. 回答者の属性分布	2
(1) 性別／(2) 居住地区／(3) 通学の主な方法	
III. 調査の結果	4
1. 下松市の住みよさ・愛着・定住意向など	4
(1) 下松市の住みよさ	4
(2) 下松市の良いところ・悪いところ	6
(3) 下松市への誇りや愛着	15
(4) 下松市への定住意向	17
2. まちづくりへの行動	19
(1) 下松市のためにできること・したいこと	19
(2) 市民がすべきまちづくりの行動	23
3. 社会経済問題への関心や関わりの希望	24
4. 学校生活や通学等の環境	28
5. まちづくりの取組アイデア	32
IV. 調査結果の総括	36

---

# I. アンケート調査の概要

## ◆調査の目的

下松市総合計画（令和2年3月基本構想策定）後期基本計画（計画期間：令和8～12年度）の策定にあたり、策定過程への市民参加の一環として、一般市民アンケートと併せて、次の時代を担う世代の意識、意向を把握し、計画内容に反映させることを目的として実施する。

## ◆調査実施の方法

調査対象	下松市内の中学校、高等学校の各2年生 (高等学校では市外在住者も含まれる)
配布回収方法	各校に依頼（中学校は教育委員会を通じ） 回答票は各校から市役所へ直接回収
実施時期	調査票の設計・印刷： 令和6年6～9月 調査票の配布： 令和6年10月中～下旬 調査票の回収： 令和6年11月中旬～12月初旬 集計・分析： 令和6年12月中旬～令和7年1月上旬

## ◆回収結果

有効回収数	854票		
学校別内訳	中学校 470票 (55.0%)	下松中学校	78票
		末武中学校	318票
		久保中学校	74票
	高等学校 384票 (45.0%)	下松高等学校	165票
		下松工業高等学校	122票
		華陵高等学校	97票

## ◆留意事項

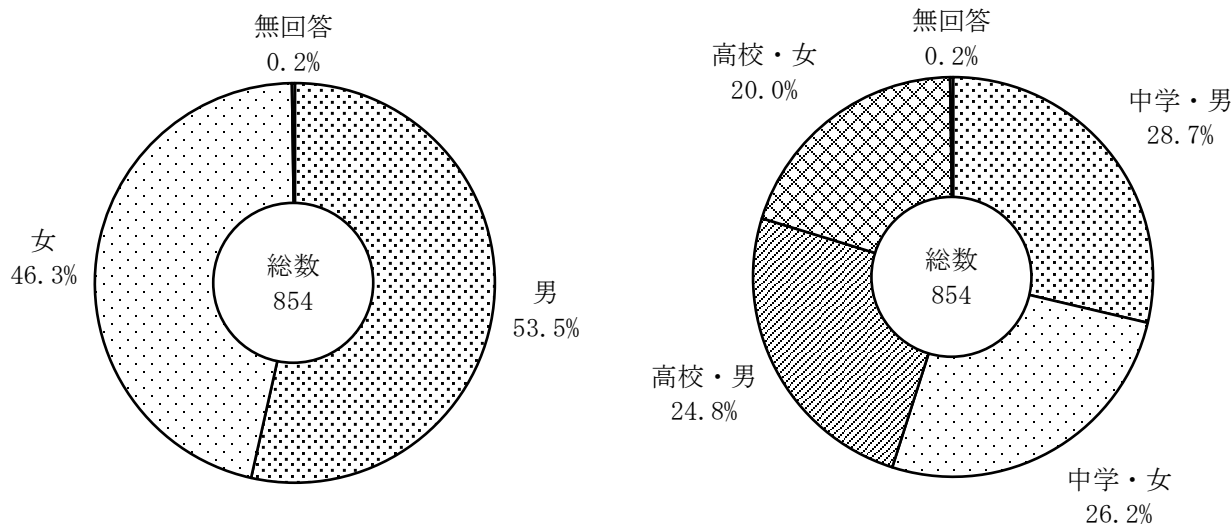
本報告書の内容においては、以下の点に留意されたい。

- ・ 回答の選択肢別構成比(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで表示している。従って、各選択肢の表示構成比の合計が100.0%に一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の設問では、回答者数を母数とするため、各選択肢の回答構成比の合計が100%を超えることになる。
- ・ 属性別等のクロス集計では、サンプル数が少ない属性があるため、その属性での結果が十分な精度を持たないことがあり得る。特に、居住地区別集計において、笠戸島地区、米川地区は有効回答数が各4票と少ないため、図表上に表示はしても参考としての表示である。
- ・ 過去の総合計画策定時にも同様の調査を実施しており、共通の設問では時系列比較も行っている。ここで、「R1調査」は、下松市総合計画策定・下松市都市計画マスタープラン中間見直し時の中学生・高校生アンケート、「H26調査」は、平成26年度実施の下松市総合計画後期基本計画策定時の中学生・高校生アンケートを指す。

## Ⅱ. 回答者の属性分布

### ■問1 あなたご自身のことについて

#### (1) 性別



調査対象は市内の中学・高校のそれぞれ2年生で、その回答者の性別割合は男性の方がやや多く53.5%である（性別無回答が2票あることに注意）。

この傾向は中学・高校共通であるが、高校では男が55.2%、女が44.5%である。以下の各設問では、中学・高校と性別を掛け合わせた上の右図の4区分を属性区分としてクロス集計に用いることとする。

#### (2) 居住地区

	下松地区	末武地区	花岡地区	久保地区	笠戸島地区	米川地区	市外	無回答	(%)
(凡例)									
(n)									
【中高別】									
全体 (854)	16.4	27.3			20.6	11.6		23.0	
中学 (470)	17.7		38.3				28.3	14.5	
高校 (384)	14.8	13.8	11.2	8.1			51.0		
【中高・性別】									
中学・男 (245)	21.6		33.9				30.2	13.5	
中学・女 (224)	13.4		43.3				25.9	15.6	
高校・男 (212)	17.0	13.7	9.9	8.5			50.0		
高校・女 (171)	12.3	13.5	12.9	7.6			52.6		

居住地区を小学校校別で尋ねているが、全体では末武地区（公集・中村小学校区）が27.3%と最も多く、中学校ではこの比率が38.3%となる。高校では市外が約半数を占める。中学校では特に女性で末武地区、男性で下松地区、花岡地区の割合が高く、高校では特に女性で市外の割合が比較的高い。

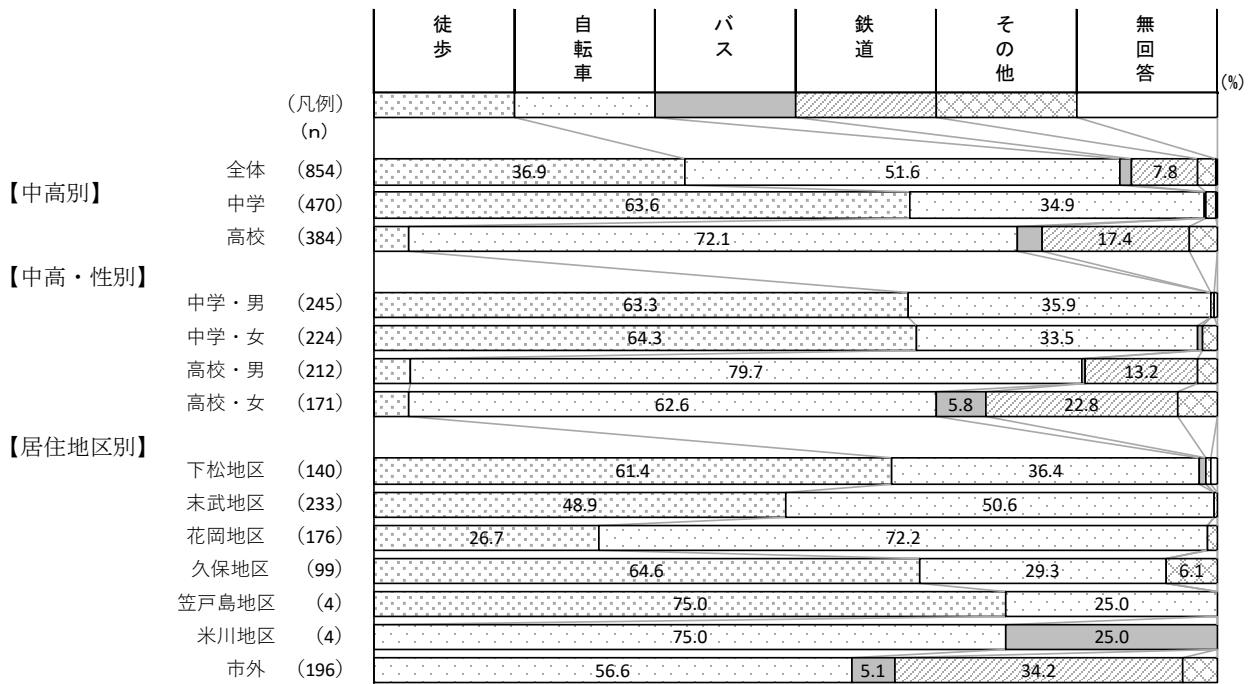
なお、笠戸島、米川地区はそれぞれ4人と少ない。

市外の内訳は右図のとおりであり、周南市が最多で、自転車通学（下の（3）参照）も可能な範囲に居住する者が多いことを示している。

「市外」の内訳

周南市	119
光市	34
柳井市	2
岩国市	18
山口市	1
田布施町	3
平生町	1
周防大島町	1
無回答	17
市外計	196

### （3）通学の主な方法



注）5%未満の数値は表示を省略している（以下同じ）。

通学の主な交通手段は、全体では自転車が51.6%と半数以上を占め、徒歩が36.9%でこれに次いでいる。

中学校では徒歩が63.6%を占めそれ以外のはほぼ自転車であり、これは男女ほぼ共通である。高校では自転車が72.1%と多くを占めるが、特に男性で79.7%と概ね5人のうち4人が自転車通学である。女性はこの比率が62.6%に下がり、鉄道、バスが一定割合を占める。

居住地区別では、久保、下松、末武地区は徒歩が半数程度以上を占めるが、花岡地区はこれが比較的少なく、自転車の割合が72.2%と突出して高い。市外居住者（全て高校生）でも自転車が半数以上を占め、市境を超えて多くの高校生が自転車で通学している状況がわかる。また、市外在住者では鉄道も34.2%を占めている。

なお、笠戸島地区居住の4人のうち3人が徒歩と回答しているが、何らかの事情によるものと考えられる。

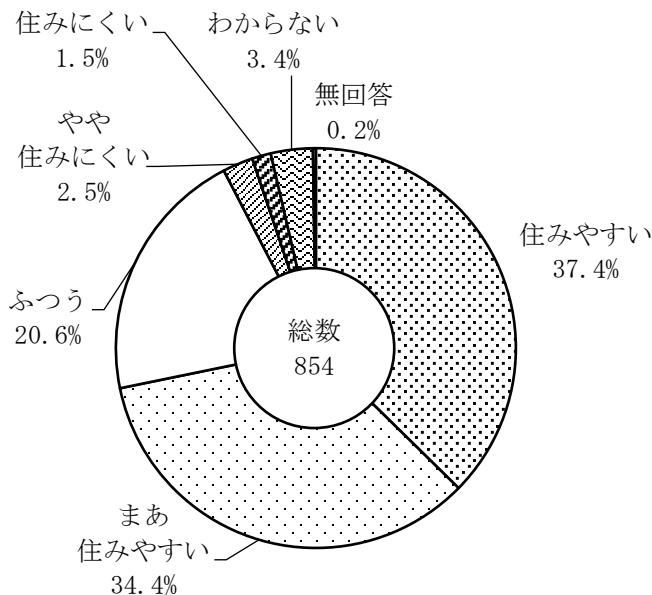
「その他」の内容では、「車」が多く、これは家族等による送迎と考えられる。

### Ⅲ. 調査の結果

#### 1. 下松市の住みよさ・愛着・定住意向など

##### (1) 下松市の住みよさ

問2 下松市全体を考えた場合、あなたは住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号を口の中に記入してください。



下松市の総合的な住みよさの程度を尋ねているが、「住みやすい」が37.4%、「まあ住みやすい」が34.4%で、合わせて7割以上が好意的な回答である。

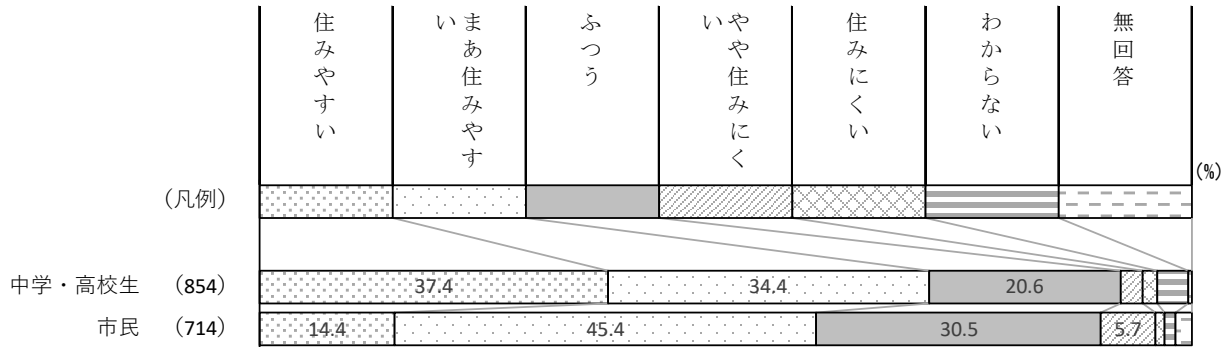
この傾向は中学・高校で大差ないが、中学・高校とも女性の方が「住みやすい」の割合がやや少ない反面「まあ住みやすい」の割合が多く、合わせた割合は女性の方が多い。

市内居住者の居住地区別では、回答数の少ない笠戸島、米川地区を除けば「住みやすい」の割合は下松地区が最大で久保地区が最も少ない。

		住みやすい	まあ住みやす	ふつう	いや住みにく	住みにくい	わからない	無回答	(%)
【中高別】									
	(凡例)								
	(n)								
全体	(854)	37.4	34.4	20.6	2.5	3.4	1.5	0.2	
中学	(470)	37.0	34.3	22.6	2.5	3.4	1.5	0.2	
高校	(384)	37.8	34.6	18.2	2.5	3.4	1.5	0.2	
【中高・性別】									
中学・男	(245)	39.2	27.3	24.5	2.5	3.4	1.5	0.2	
中学・女	(224)	34.8	42.0	20.5	2.5	3.4	1.5	0.2	
高校・男	(212)	38.2	32.5	18.9	2.5	3.4	1.5	6.1	
高校・女	(171)	36.8	37.4	17.5	2.5	3.4	1.5	0.2	
【居住地区別】									
下松地区	(140)	48.6	30.0	16.4	2.5	3.4	1.5	0.2	
未武地区	(233)	42.1	31.8	18.5	2.5	3.4	1.5	0.2	
花岡地区	(176)	39.2	38.6	18.8	2.5	3.4	1.5	0.2	
久保地区	(99)	24.2	41.4	28.3	2.5	3.4	1.5	0.2	
笠戸島地区	(4)	50.0	50.0						
米川地区	(4)	25.0	25.0	25.0	25.0				
市外	(196)	28.6	33.2	24.5	2.5	3.4	1.5	8.2	

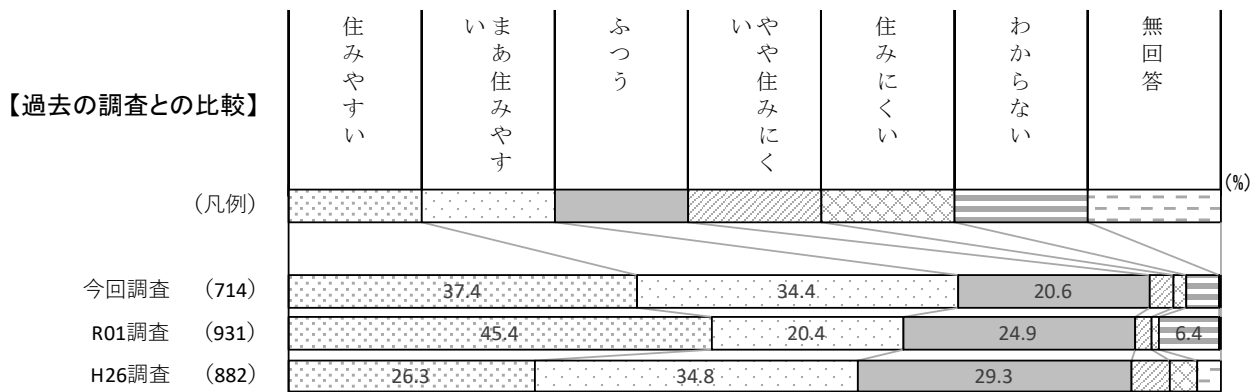
この結果を、同時実施の市民アンケート調査（18歳以上市民2,000人対象）での「総合的、全体的な下松市の住みよさ」の満足度（選択肢は、満足、まあ満足、普通、やや不満、不満、わからない）と比較すると、好意的回答の割合が中学・高校生の方がかなり多い。中学・高校生は、市外、県外からの転入者が少ないことで、生まれ育ち馴染んだ市の住みよさを好意的に評価する傾向が強いとも考えられる。

### 市民アンケート調査との比較

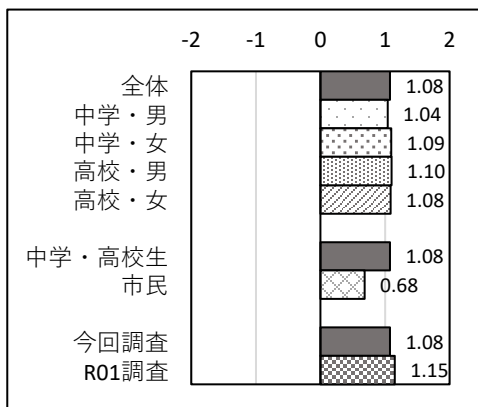


また、この設問は、過去の総合計画策定時の調査でも設けており、時系列的に比較すると、前回調査（令和元年）よりも「住みやすい」の割合は低下したが、「まあ住みやすい」を加えた好意的な回答の割合は増加を続けている。

### 時系列比較



### 評価点による比較



評価点： 「住みやすい」 = 2点、「まあ住みやすい」 = 1点、「ふつう」 = 0点、「やや住みにくい」 = -1点、「住みにくい」 = -2点として、回答数（無回答、「わからない」を除く）で加重平均した値

上の基準で算出した評価点による比較を左図に示す。これは、平均的な評価水準の比較であり、これによれば、中高・性別による評価の違いはごく少ないと見ることができる。

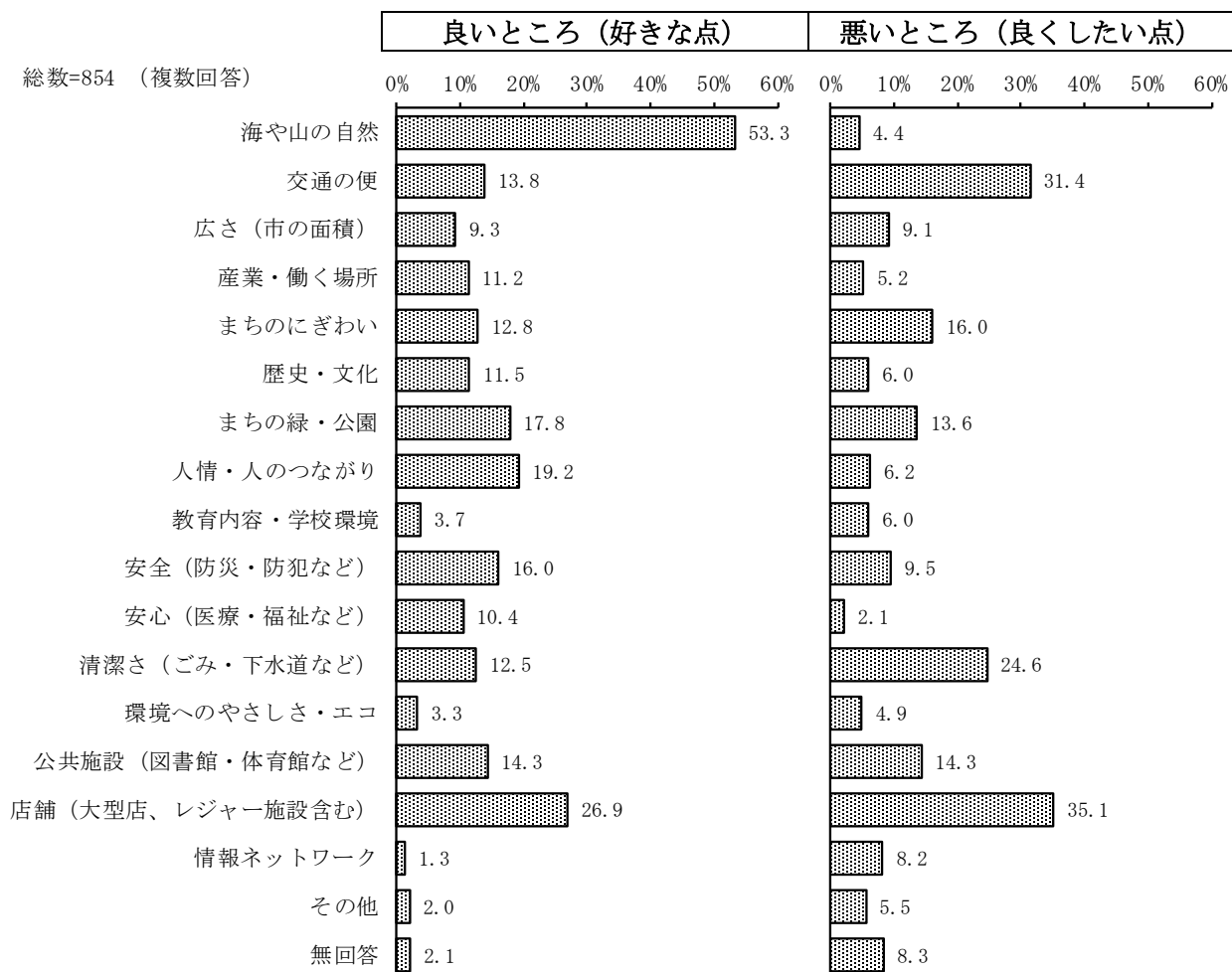
(2) 下松市の良いところ・悪いところ

問3 下松市の良いところ(好きな点)、悪いところ(良くしたい点)は何ですか。次の中からそれぞれ3つまで選んで番号を下の口の中に記入し、その良いまたは悪いと思う内容も簡単に記入してください。

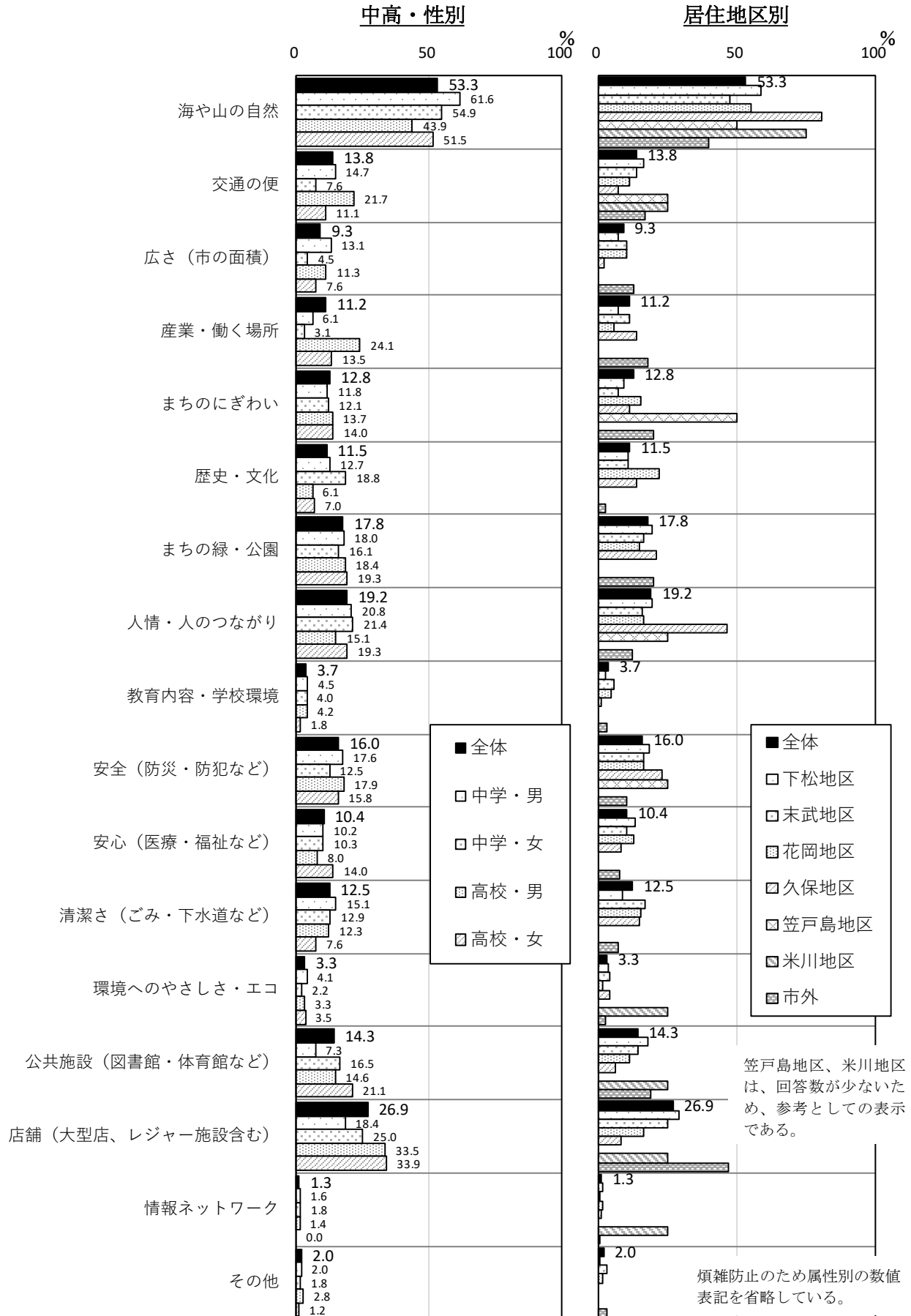
1. 海や山の自然	2. 交通の便	3. 広さ(市の面積)
4. 産業・働く場所	5. まちのにぎわい	6. 歴史・文化
7. まちの緑・公園	8. 人情・人のつながり	9. 教育内容・学校環境
10. 安全(防災・防犯など)	11. 安心(医療・福祉など)	12. 清潔さ(ごみ・下水道など)
13. 環境へのやさしさ・エコ	14. 公共施設(図書館・体育館など)	15. 店舗(大型店、レジャー施設を含む)
16. 情報ネットワーク	17. その他	

中学・高校生からみた下松市の良いところ(好きな点)、悪いところ(良くしたい点)を17の選択肢から3つまで選ぶものである。

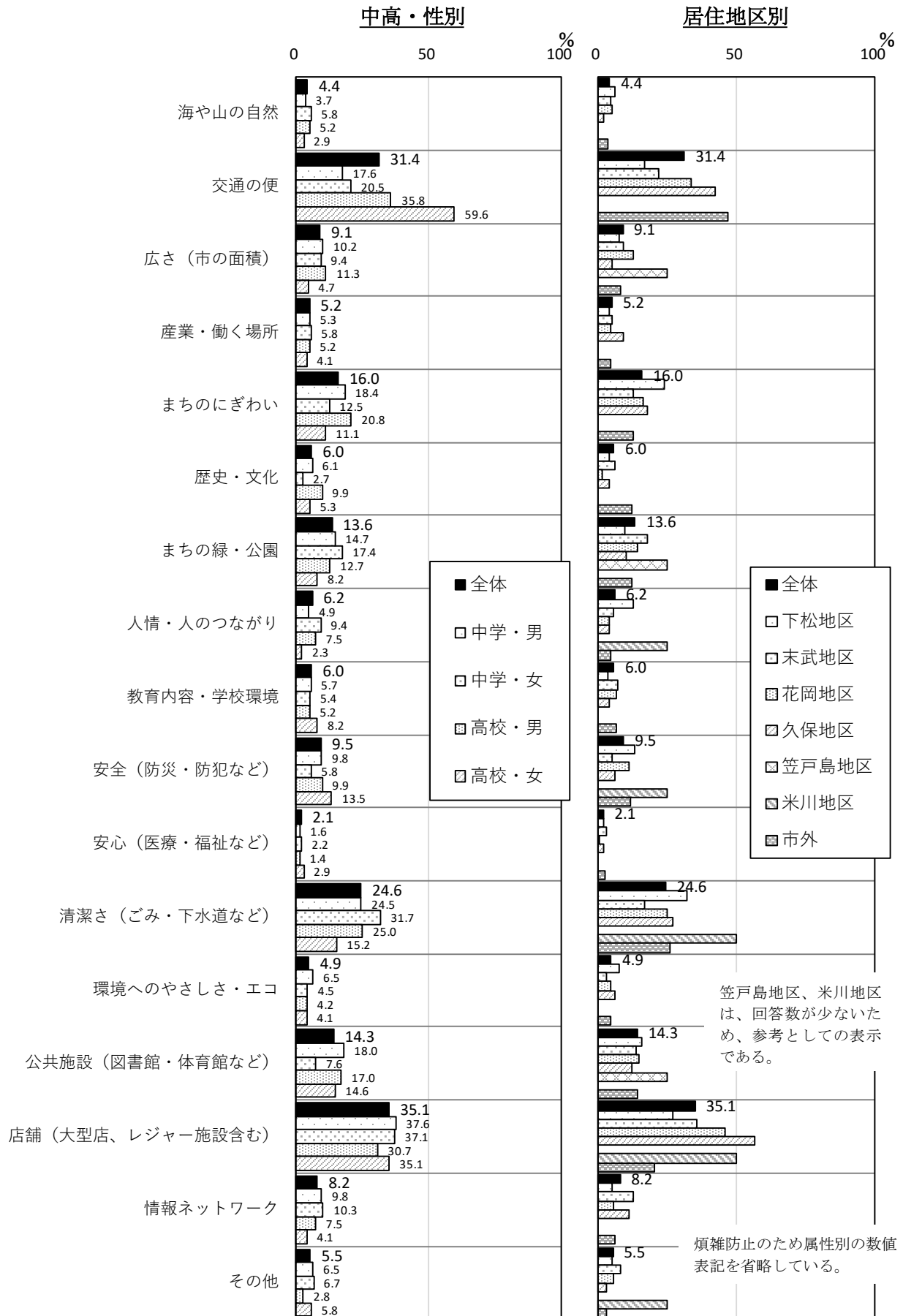
良いところでは、「海や山の自然」が最も多く半数以上の回答を集めており、これに「店舗(大型店、レジャー施設を含む)」が続くが、一方で、悪いところの1位が「店舗(大型店、レジャー施設を含む)」であり、その選択割合は35.1%と、良いところでの選択割合よりも多い。悪いところでは、これに「交通の便」、「清潔さ(ごみ・下水道など)」の順で続いている。



良いところ (好きな点)



悪いところ (良くしたい点)



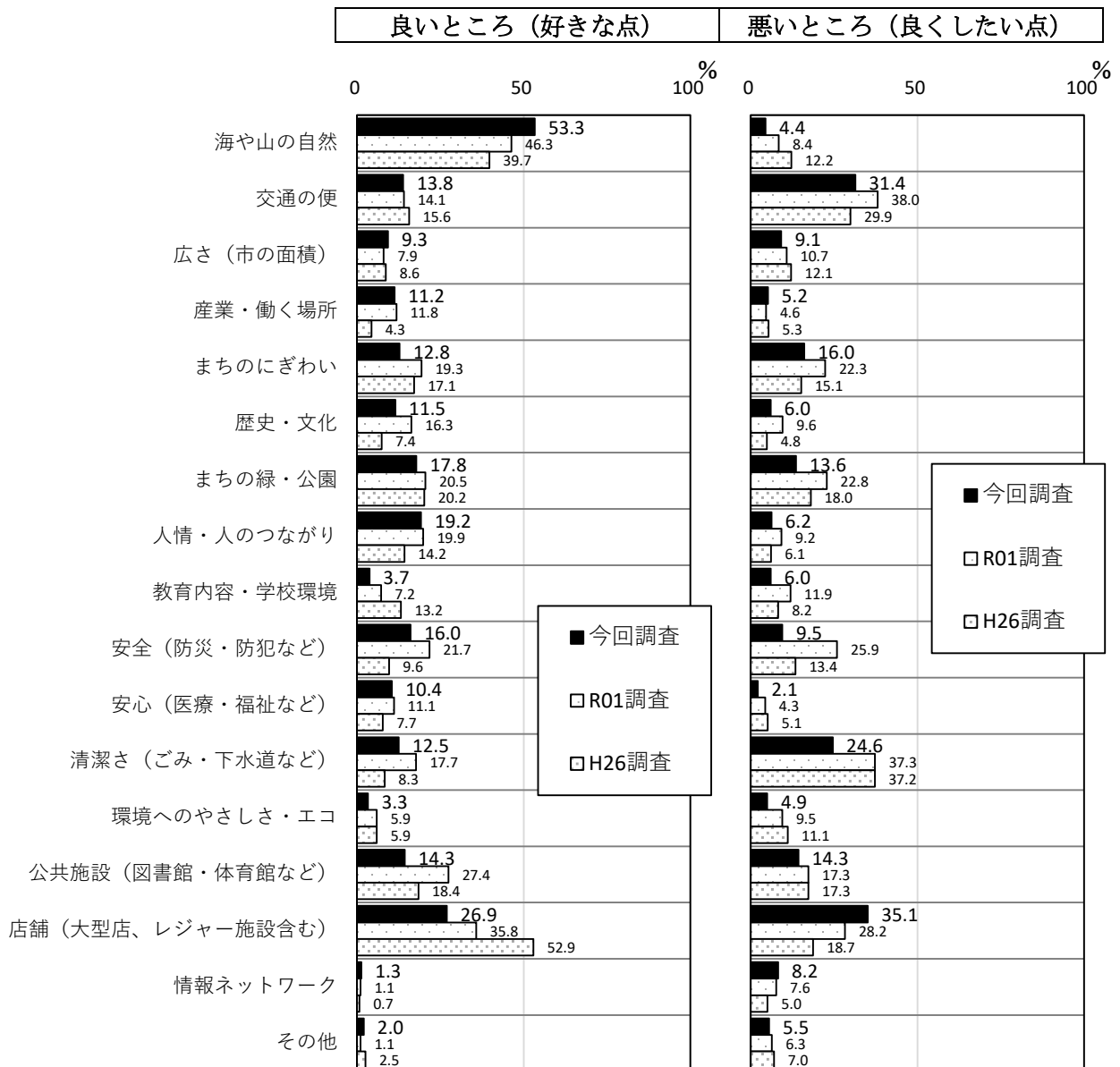
良いところで1位の「海や山の自然」では中学生男性の回答率が特に高く、2位の「店舗（大型店、レジャー施設を含む）」では高校生男女の割合が中学生よりも高い。また、数値は小さいが「産業・働く場所」を良いところとして選択する割合も高校生の方が中学生より高いのも特徴である。

悪いところでは、1位の「店舗（大型店、レジャー施設を含む）」は、中高、男女ともに高い値だが、2位の「交通の便」では高校生（特に女性）の回答率が高い。

居住地区別では、「海や山の自然」や「人情・人のつながり」を良いところと選択する割合が久保地区で目立って高く、「店舗（大型店、レジャー施設を含む）」は下松、末武地区で高いという特徴がある。悪いところでは、「店舗（大型店、レジャー施設を含む）」や「交通の便」で久保、花岡地区での割合が特に高いこと等が目立つ。

過去の調査と時系列で比較してみると、「店舗（大型店、レジャー施設を含む）」を良いところとする割合が減少を続け、逆に悪いところとする割合が増加を続けている点、「海や山の自然」を良いところとする割合が徐々に増加している点などが指摘できる。

### 時系列比較



また、この設問では、良い（悪い）と思う内容の記述も求めている。

### 良いと思う内容の記述回答件数

項目	記述件数
1. 海や山の自然	431
2. 交通の便	107
3. 広さ（市の面積）	73
4. 産業・働く場所	88
5. まちのにぎわい	102
6. 歴史・文化	93
7. まちの緑・公園	140
8. 人情・人のつながり	157
9. 教育内容・学校環境	32
10. 安全（防災・防犯など）	123
11. 安心（医療・福祉など）	85
12. 清潔さ（ごみ・下水道など）	100
13. 環境へのやさしさ・エコ	23
14. 公共施設（図書館・体育館など）	119
15. 店舗（大型店、レジャー施設を含む）	219
16. 情報ネットワーク	10
17. その他	17
計	1,919

良いと思う内容の記述回答は、計 1,919 件あり、その回答番号別の内訳は左表のとおりである。良いところとして選択した件数に対応した記述件数分布となっている。

このうち、「海や山の自然」では自然のきれいさ、「まちのみどり・公園」では公園の多さ、「人情・人のつながり」では人の優しさ、「清潔さ」ではごみのポイ捨て等の少なさ、「店舗（大型店、レジャー施設を含む）」では大型店の多さなどを内容とする回答が目立っている。

以下に、各回答項目別に代表的なものを抽出した結果を示す。（（ ）内の数値は各回答項目での記述回答数を示す。）（原文のまま）

### 良いと思う内容（代表的意見）

#### 1. 海や山の自然

(431)

海がきれい。	中学・男
海や山がたくさんあること。	中学・女
笠戸島など自然を感じる事が出来る場所が多いと思ったから。	高校・女
空気がきれい。	高校・女
自然豊かで過ごしやすい。	高校・女
緑が多く、自然が豊かでとても好きです。	高校・女
山が多く、自然豊かで良いと思う。	高校・女

#### 2. 交通の便

(107)

あまり混んでいない。	中学・男
いろいろなところに行きやすい。	中学・男
下松駅があり、隣の市には IC と新幹線がとまる駅がある。	高校・男
交通の便で使いやすいと思うから。	中学・男
混まなくて移動がしやすい。	中学・男
電車やバスがある。	高校・男
道路が整備されている。	中学・女

#### 3. 広さ（市の面積）

(73)

コンパクトであちこちに行きやすくとても良い。	中学・男
ちょうどいい広さ。	高校・女
広すぎず、せますぎず住みやすい。	中学・女

#### 4. 産業・働く場所

(88)

大きな会社がある。	中学・男
工場や大型店が多く働き口が多いこと。	中学・男
新幹線などの産業が集中している。	高校・男
働ける場所が豊富で良いと思う。	高校・男

## 5. まちのにぎわい

(102)

新しいお店がオープンしたり住んでいる人が多かったり、活気のあるイメージがある。	高校・女
お祭りとかイベントとか、いっぱいあってにぎわっている。	高校・女
ショッピングモール等が多い。	高校・男
人が多いため、にぎわっていると思う。	高校・女
ゆめタウンなどお店がたくさんあって人も多い。	高校・男

## 6. 歴史・文化

(93)

いなほ祭りなどの行事等、色々な文化があること。	中学・女
きつねの嫁入りなどの伝統行事があるところ。	中学・女
埴輪など色々な歴史がたまっている。	中学・女
昔から受けつがれたことを、今でも続けていることが多いから。	中学・女
歴史の感じられる建物(花岡八幡宮など)があってよいと思う。	中学・男

## 7. まちの緑・公園

(140)

いろんなところに公園があり、楽しめる。	中学・女
公園が多くて遊ぶ場所が確保されているところ。	中学・男
自然が大切にされている。	高校・男
緑がたくさんあり、空気おいしい。	高校・女

## 8. 人情・人のつながり

(157)

あいさつがしっかりできている。	中学・女
いろいろな行事があって人とのつながりがある。	高校・女
近所の人との距離が近い。	高校・女
地域の人と交流することが多いし、みんな優しい。	中学・男
人と人とのつながりが多く、みんな優しい。	中学・男
ボランティアなどの町の人との交流が多い。	中学・男

## 9. 教育内容・学校環境

(32)

小中学校の施設がキレイ。	高校・男
分かりやすい教え方。	中学・男

## 10. 安全(防災・防犯など)

(123)

あまり大きな災害や事故がなく、安全だと思うから。	高校・女
大きな犯罪もなく、防犯がしっかりしている。	中学・男
ボランティアの人が多く、たくさんの人に見守られている。	中学・男

## 11. 安心(医療・福祉など)

(85)

医療が高校まで無償であるのが良い点。	中学・男
医療機関が充実している。	高校・女
病院など多く心配がないから。	中学・女

## 12. 清潔さ(ごみ・下水道など)

(100)

ゴミがあまり落ちていない。	中学・女
ゴミの分別や下水道がとても整備されている。	中学・男
水道代が安く、水が美味しいから。	中学・男
ポイ捨てがあまりない。	中学・女

## 13. 環境へのやさしさ・エコ

(23)

環境にやさしいように、袋などを買い取り組みが行われていること。	中学・女
ゴミの分別が細かくきちんと行われていること。	中学・男

## 14. 公共施設(図書館・体育館など)

(119)

静かな場所で勉強できるスペースがあるところ。	高校・女
体育館などスポーツをするとき安く借りることができる。	高校・女
誰でも簡単に使える公共施設が身近にたくさんあること。	中学・女
図書館がいつもきれいになっているところ。	中学・男

15. 店舗(大型店、レジャー施設を含む)

(219)

いろいろな店があつて、足りない店がなく、困ることがない。	高校・女
映画館やボウリングがある所。	高校・男
大型店舗が多く、買い物しやすい。	中学・女
買い物しようと思った時に大体全てそろつて、不便がない。	高校・女
ショッピングモール等が複数あり、買い物に困らないところ。	高校・女
ゆめタウンやサンリブなどの大型店があり、便利だから。	中学・女

16. 情報ネットワーク

(10)

すぐ情報が得られる。	中学・女
ネットの調子がいい。	中学・女

17. その他

(17)

水道代が安いところ。	中学・女
友だちがたくさんいる。	高校・男

悪いと思う内容の記述回答件数

項目	記述件数
1. 海や山の自然	35
2. 交通の便	253
3. 広さ(市の面積)	71
4. 産業・働く場所	38
5. まちのにぎわい	124
6. 歴史・文化	47
7. まちの緑・公園	114
8. 人情・人のつながり	49
9. 教育内容・学校環境	44
10. 安全(防災・防犯など)	74
11. 安心(医療・福祉など)	16
12. 清潔さ(ごみ・下水道など)	202
13. 環境へのやさしさ・エコ	40
14. 公共施設(図書館・体育館など)	109
15. 店舗(大型店、レジャー施設を含む)	289
16. 情報ネットワーク	63
17. その他	46
番号回答なし	6
計	1,620

悪いと思う内容の記述回答は、計 1,620 件あり、その回答番号別の内訳は左表のとおりである。やはり悪いところとして選択した件数に応じた記述件数分布となっている。

このうち、「店舗(大型店、レジャー施設を含む)」では店舗数や規模への不満、「交通の便」ではバスや鉄道の運行本数の少なさ、「清潔さ」では道路等でのごみの多さ等を指摘する内容が目立っている。

以下に、各回答項目別に代表的なものを抽出した結果を示す。( )内の数値は各回答項目での記述回答数を示す。(原文のまま)

悪いと思う内容(代表的意見)

1. 海や山の自然

(35)

海や山などにゴミが多く捨ててあるところ。	高校・男
山が伐採されて住宅地が出来始めたことで、緑が減ってきていてさみしい。	中学・女

2. 交通の便

(253)

岩徳線の本数が少ない。	高校・女
電車、バスの本数が少ない。	高校・女
バス停が少ない。(メインの道のみ。)	高校・女
バスの運行本数や駅の利便性が低い。	中学・男
道幅が狭かったり、角で良く見えない場所がある。	高校・男

### 3. 広さ(市の面積) (71)

少しせまい。	中学・女
広さが少ないことによって、人が住めるところが限られてくるから。	中学・女

### 4. 産業・働く場所 (38)

周南や宇部などの方が多い。	高校・男
働きたいと思う場所が少ない。	高校・女
働く場所が少なく、他の市や県などに行かなければならないから。	中学・女

### 5. まちのにぎわい (124)

遊ぶ場所が少ないので、にぎわいが少ない。	高校・男
飲食店は少なめ。駅周りが少しにぎわっていない。	高校・男
人口が少ないせいか、にぎやかではない。	中学・女
人のにぎわいが少なく寂しい場所がある。	高校・女
盛り上がるイベントがない。	中学・男

### 6. 歴史・文化 (47)

あまり知らされていない。	中学・男
どんな歴史があるのかを、もっと広めるべき。	高校・女
歴史を感じられるところが少ない。(知らない。)	高校・女

### 7. まちの緑・公園 (114)

遊べる公園が多くない。手入れがされていない。	中学・男
公園が広くないし、遊具も少ない。	中学・男
整備されていない公園がある。	高校・男
ボール遊びができる公園があまりないこと。	中学・男

### 8. 人情・人のつながり (49)

あいさつが少ない。	中学・女
行事も少ないので人とのつながりは少ないと思う。	中学・男
地域の人とのつながりが少ない。	中学・女
祭りなどのイベントが少なく、人とつながれる機会がない。	中学・女

### 9. 教育内容・学校環境 (44)

学校環境がよくない。	中学・女
中学校が3校しかなく、偏りがある。	高校・女

### 10. 安全(防災・防犯など) (74)

街灯が少ない道が多い。	高校・男
クマや不審者など、危険が少し多いと思う。	中学・男
事件とかが、たびたび起きている。	中学・女
自然が多いから土砂くずれなどになったら大変。	中学・男
不審者とか危ない人がいるっていうのを、よく聞くから。	高校・女

### 11. 安心(医療・福祉など) (16)

大きい病院が少ない。	高校・女
病院で長い間待たされることがある。	中学・女

### 12. 清潔さ(ごみ・下水道など) (202)

川があまりきれいだとはいえない。	高校・男
ゴミが落ちていることがある。	高校・女
トイレなど汚いときがある。	中学・女
ポイ捨てされていることが多いから。	高校・男

### 13. 環境へのやさしさ・エコ (40)

エコへの取り組みがあまりできていない。	中学・女
ゴミがいたるところに落ちているため、不潔。	中学・女
まだ環境活動が少ないと思う。	中学・女

14. 公共施設(図書館・体育館など) (109)

いつでもスポーツや交流できる場所が少ない。	中学・女
自習できる場所を増やしてほしい。	高校・女
体育館が少ない(学校以外の)。	中学・女
図書館などの過ごす場所が少ないこと。	中学・男
みんなが使える施設が少ない。	中学・女

15. 店舗(大型店、レジャー施設を含む) (289)

遊びに行くところが限られているから。	中学・女
大型店が少なく、行ける場所がかぎりがあるから。	中学・女
お店が少なく、買いたいと思うものがなかなか買えない。	中学・女
ショッピングモールなどの大型店を増やしてほしいと思った。	中学・女
ほしい物があまりそろっていない。近くにない。	中学・女
もっといろんな大型店がほしい。	中学・男
ゆめタウン以外にも中高生が行くことができる娯楽がほしい。	高校・女
レジャー施設が少ない。	高校・女

16. 情報ネットワーク (63)

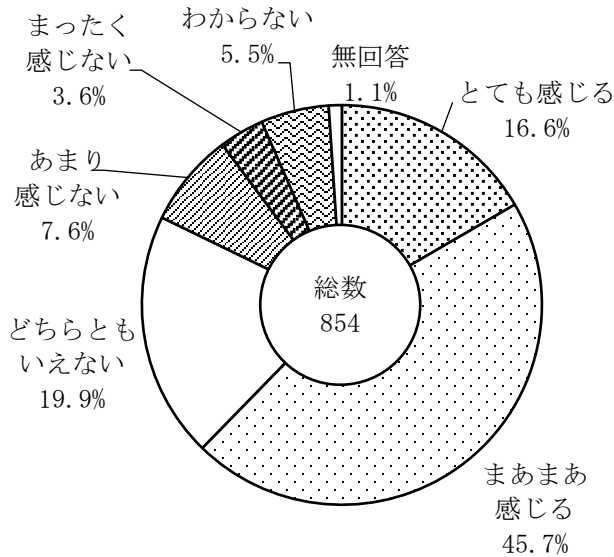
インターネットのつながりが悪い時が多い。	中学・女
情報が少ない気がする。	中学・男
フリーWi-Fiをもっとたくさんつくってほしい。	中学・男

17. その他 (46)

大きな店や公共施設が、豊井方面に全くない。	中学・女
道路や歩行する道がせまかったりガタガタしている所が多いと思う。	高校・男
部活動や学校でできなくなっていて、生徒が満足に練習できない。	中学・女

(3) 下松市への誇りや愛着

問5 あなたは、下松市に誇りや愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで番号を□の中に記入してください。



下松市への誇りや愛着については、「とても感じる」の割合が16.6%で、「まあまあ感じる」を合わせたプラス評価の回答割合は62.3%となる。

中学生よりも高校生の方がこの割合は低いが、これは、高校生では市外在住者が半数程度いるため、市内各地区居住者では概ね全体傾向に近い結果である。特に下松地区居住者では「とても感じる」の割合が27.9%と特に高い。

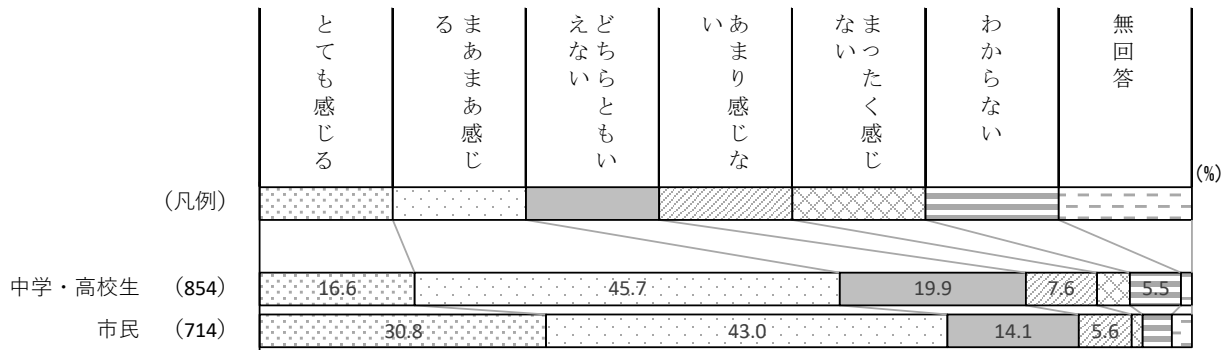
また、中学生、高校生ともに「とても感じる」と「まあまあ感じる」を合わせたプラス評価の回答割合が女性の方が高いことも特徴である。

		とても感じる	まあまあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	わからない	無回答	(%)
【中高別】									
	(凡例)								
	(n)								
	全体 (854)	16.6	45.7			19.9	7.6	5.5	
	中学 (470)	18.1	48.1			17.4	7.9		
	高校 (384)	14.8	42.7			22.9	7.3	5.5	6.8
【中高・性別】									
	中学・男 (245)	19.2	44.9			16.3	8.6	5.7	
	中学・女 (224)	17.0	51.8			18.8	7.1		
	高校・男 (212)	16.0	38.2			22.6	7.5	6.6	9.0
	高校・女 (171)	13.5	48.0			23.4	7.0		
【居住地区別】									
	下松地区 (140)	27.9	46.4			12.9	5.7		
	末武地区 (233)	18.0	48.5			17.2	7.7	5.2	
	花岡地区 (176)	17.6	47.7			17.6	6.8		
	久保地区 (99)	17.2	56.6				21.2		
	笠戸島地区 (4)	25.0	50.0					25.0	
	米川地区 (4)		75.0						
	市外 (196)	6.1	33.2			30.1	12.2	7.7	10.7

同じ設問を、同時実施の市民アンケート調査（18歳以上市民2,000人対象）でも設けており、これと比較すると、「とても感じる」と「まあまあ感じる」を合わせたプラス評価の回答割合は中学生・高校生の方が少ないが、これも、高校生の約半数が市外在住者であることの影響が含まれて

いると考えられる。

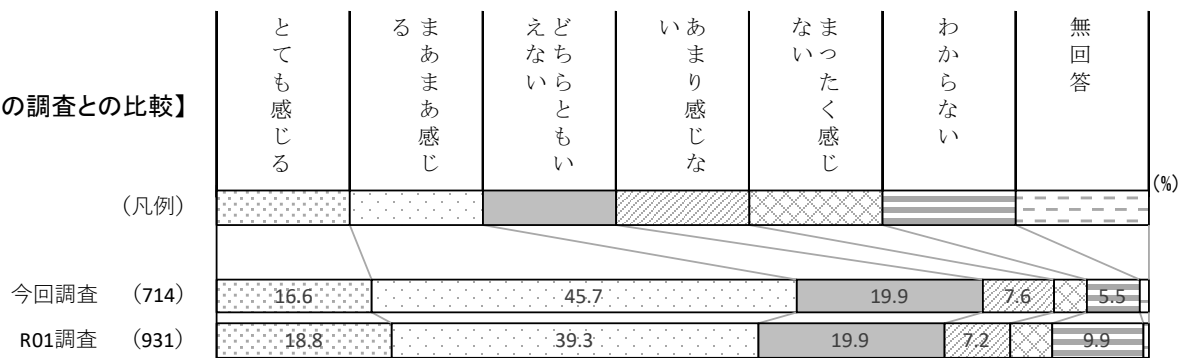
### 市民アンケート調査との比較



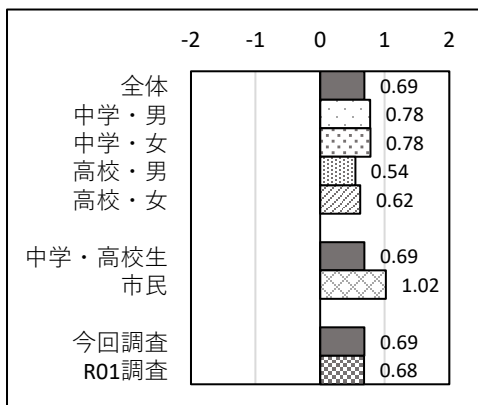
この設問は、前回調査（令和元年）から設けており、前回調査との比較では、「とても感じる」の割合は若干低下したが、「まあまあ感じる」を合わせたプラス評価の回答割合は逆に上昇している。

### 時系列比較

【過去の調査との比較】



### 評価点による比較



評価点： 「とても感じる」＝2点、「まあまあ感じる」＝1点、「どちらともいえない」＝0点、「あまり感じない」＝－1点、「まったく感じない」＝－2点として、回答数（無回答、「わからない」を除く）で加重平均した値

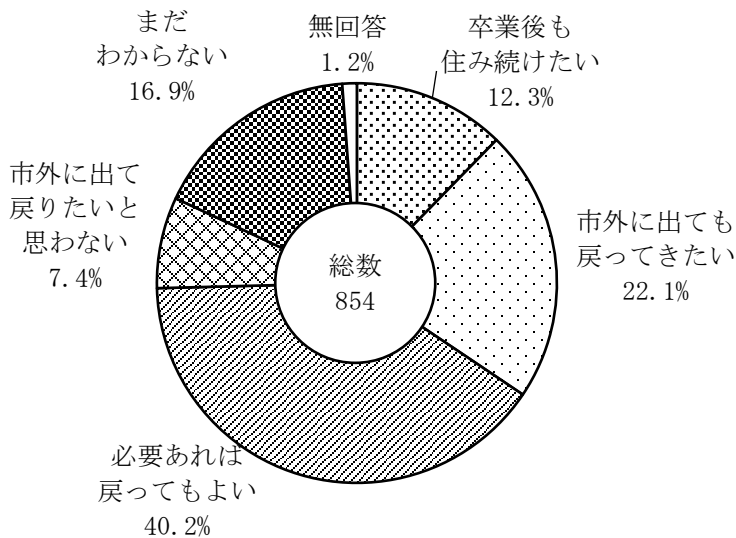
上の基準で算出した評価点による比較を左図に示す。これは、平均的な評価水準の比較であり、中学生の方が高校生よりプラス評価の比重が高いこと、一般市民よりも中学・高校生の平均的な評価が低いこと、前回調査（令和元年）とほぼ同じ評価水準であることが確認できる。

(4) 下松市への定住意向

問4 あなたは将来も下松市に住みたいと思いますか（市外に住んでいる人は、下松市を今住んでいる市と考えてください）。次の中から1つだけ選んで番号を口の中に記入してください。

〔選択肢〕

1. 中学校・高校卒業後も、そのまま市内に住み続けたい。
2. 進学または就職で市外に出ても、その後ぜひもどってきたい。
3. 進学または就職で市外に出ても、もし必要があればもどってきてもよい。
4. 進学または就職で市外に出て、その後もどりたいとは思わない。
5. まだわからない。



卒業後の将来的な下松市への居住の意思を尋ねている。

「卒業後も住み続けたい」と「進学または就職で市外に出ても戻ってきたい」の両者を積極的居住希望、「必要があれば戻ってきてもよい」を消極的居住希望と捉えると、積極的居住希望の割合は約1/3の34.4%、消極的居住希望の割合は40.2%で、全体の約3/4が、将来的に市内に居住する可能性を示していると見られる。

ただし、積極的居住希望の割合は、中学生に比べ高校生で大きく減少しており、成長に従って市外への関心が高まることの表われとも受け取られる。この中→高での積極的居住希望の減少の度合いは特に女性で顕著である。

市内の居住地区別では、回答が少ない笠戸島、米川地区を除けば積極的居住希望の割合は大きな差はないが、そのうちの「卒業後も住み続けたい」の割合は末武、花岡地区で比較的高い。

「その他」の主な記述	行きたい学校が県外にあり、そこにそのまま住むから。 将来的に自分のやりたいことは下松市では叶えられないため。 いなかだけでは経験できないことも経験したいから。 ここもいいと思うがもっと都会に行きたい。 東京や大阪などの都会に住んでみたいから。 戻ってくる理由がないから。
------------	--

		続卒業 後とも 住み	戻市 つ外 てに き出 たいも	戻必 つ要 てあ もれ ばよ い	なり市 いた外 いと出 思て わ戻	いま だわ から な	無 回 答	(%)
【中高別】	(凡例) (n)							
	全体 (854)	12.3	22.1	40.2	7.4	16.9		
	中学 (470)	14.9	26.2	35.3	5.3	16.4		
	高校 (384)	9.1	17.2	46.1	9.9	17.4		
【中高・性別】								
	中学・男 (245)	18.0	21.6	31.8	5.7	20.0		
	中学・女 (224)	11.6	31.3	39.3		12.5		
	高校・男 (212)	13.2	16.0	39.6	9.9	21.2		
	高校・女 (171)	4.1	18.7	53.8	9.9	12.9		
【居住地区別】								
	下松地区 (140)	12.9	27.1	36.4	5.7	16.4		
	未武地区 (233)	17.6	20.6	38.6	6.0	16.7		
	花岡地区 (176)	17.0	25.6	33.5	6.8	15.3		
	久保地区 (99)	10.1	34.3	39.4		11.1		
	笠戸島地区 (4)	25.0		50.0		25.0		
	米川地区 (4)		50.0		25.0		25.0	
	市外 (196)	11.7		50.0	12.2	22.4		

前回調査（令和元年）との比較では、「卒業後も住み続けたい」と「市外に出ても戻ってきたい」の積極的居住希望の割合は大きく変わらないが、「必要があれば戻ってきてもよい」という消極的居住希望の割合が増加し、これを合わせた将来的に市内に居住する可能性は高まっていると受け取ることもできる。

### 時系列比較

		続卒業 後とも 住み	戻市 つ外 てに き出 たいも	戻必 つ要 てあ もれ ばよ い	なり市 いた外 いと出 思て わ戻	いま だわ から な	無 回 答	(%)
【過去の調査との比較】	(凡例) (n)							
	今回調査 (854)	12.3	22.1	40.2	7.4	16.9		
	R01調査 (931)	12.0	21.1	31.4	8.7	26.2		

## 2. まちづくりへの行動

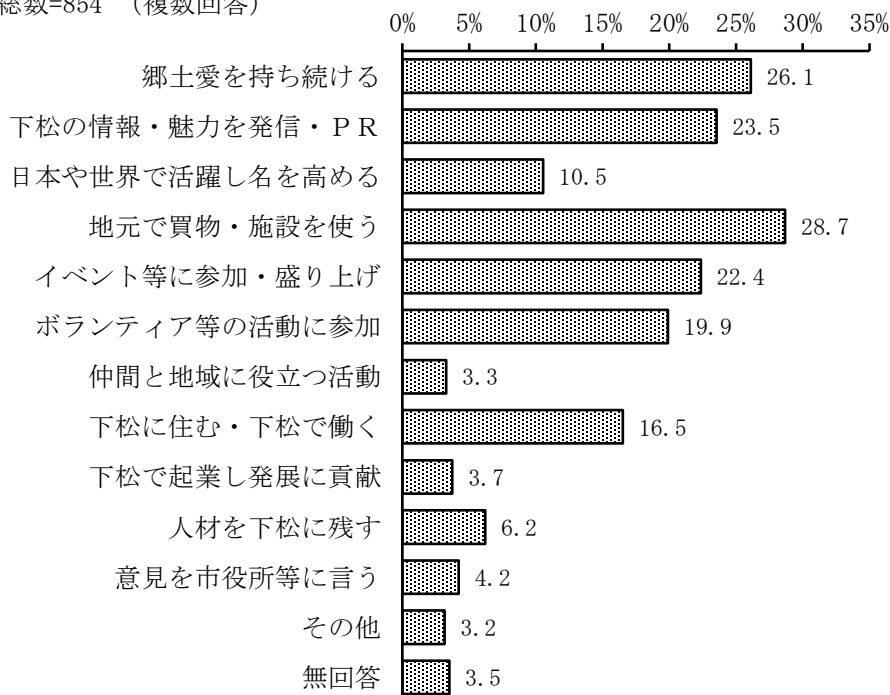
### (1) 下松市のためにできること・したいこと

問6 将来の下松市をより良いまちにするため、今、そして将来（将来下松市を離れても）あなた自身ができること、したいことはどんなことですか。次の中から2つまで選んで番号を下の口の中に記入し、具体的な考えがある場合は記入してください。

〔選択肢〕

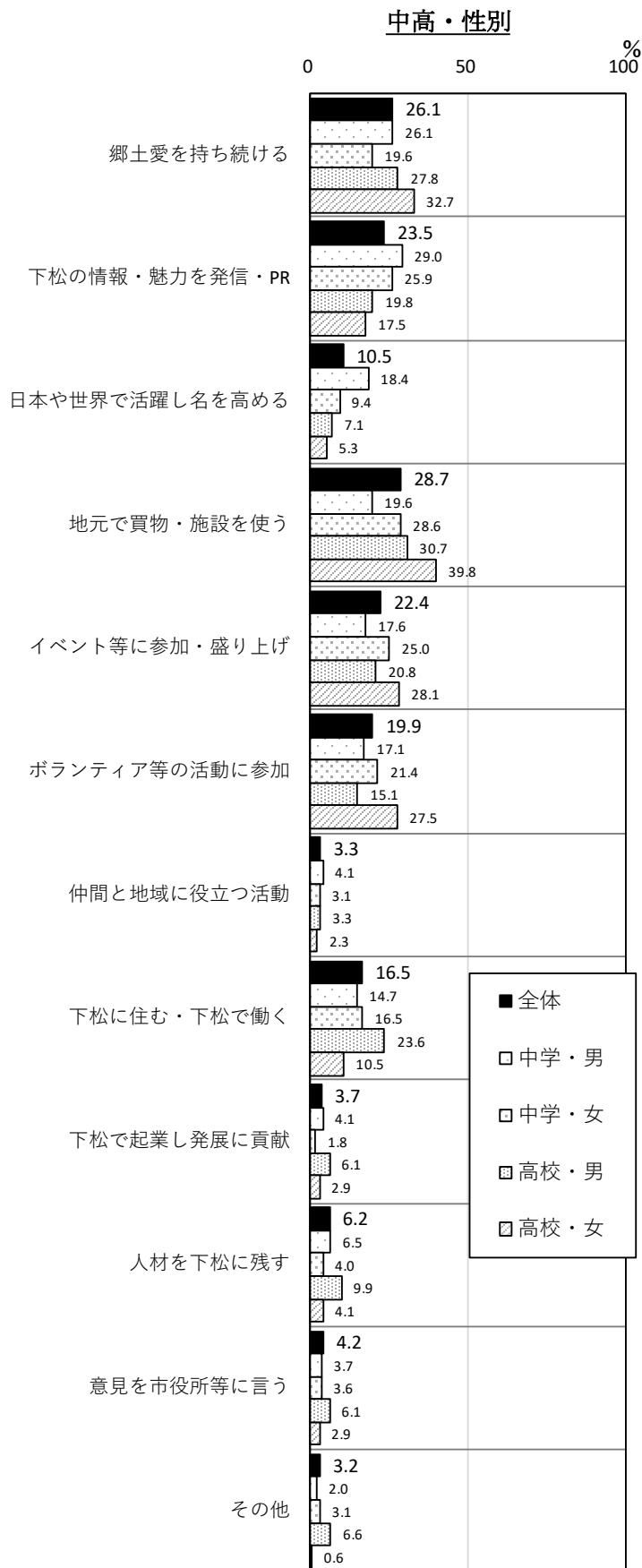
1. ふるさと納税制度などを利用し郷土愛を持ち続ける。
2. SNSなどで下松の情報、魅力を発信、PRする。
3. 日本や世界で活躍し、下松の名を高める。
4. できるだけ地元で買物をしたり、施設を使う。
5. 地域のイベントなどに参加して盛り上げる。
6. ボランティアなど地域の活動に参加する。
7. 仲間を集めて一緒に地域に役立つ活動をする。
8. 下松に住む、下松で働く。
9. 下松で新しい事業を起し、市の発展に貢献する。
10. 後輩の指導や子育てなどで人材を下松に残す。
11. 自分の意見を市役所などに言って改善を求める。
12. その他

総数=854（複数回答）



中学生・高校生である現在、そして将来において、下松市のために自らができること、したいことを尋ねている。

最も高い回答割合なのは「できるだけ地元で買物をしたり施設を使う」で28.7%、これに「ふるさと納税制度などで郷土愛を持ち続ける」、「SNSなどで下松の情報、魅力を発信、PRする」、「地域のイベントなどに参加して盛り上げる」、「ボランティアなど地域の活動に参加する」、「下松に住む、下松で働く」が続き、この6項目が上位グループを形成する。

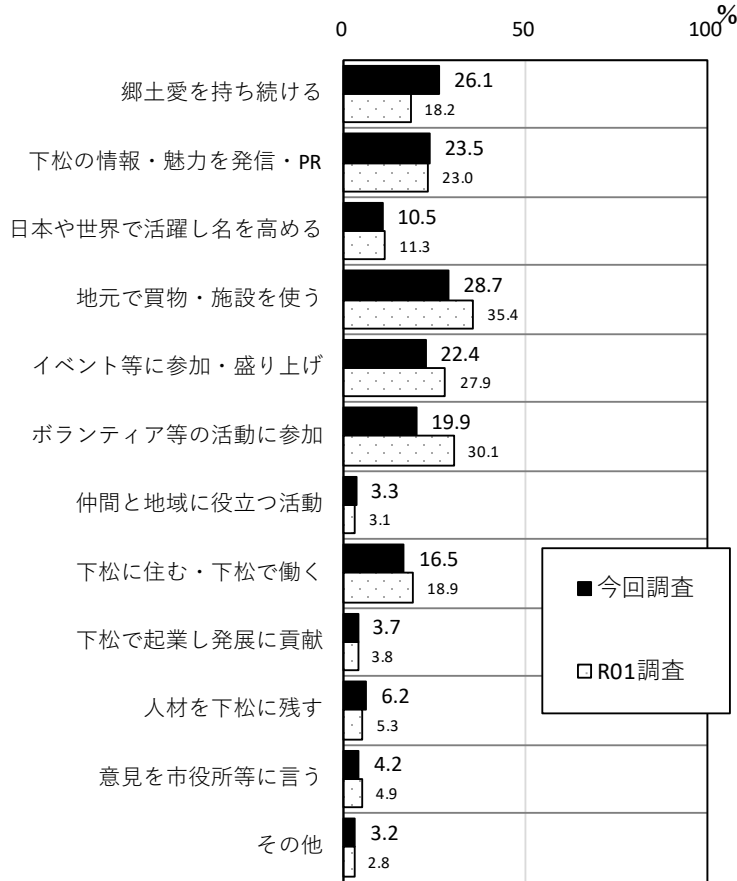


全体で1位の「地元で買物・施設を使う」は中学生よりも高校生（特に女性）での割合が高く、2位の「郷土愛を持ち続ける」も高校生の女性の割合が最も高い。一方、「下松の情報、魅力を発信、PR」や「日本や世界で活躍し下松の名を高める」の割合は高校生よりも中学生、それも男性での割合が特に高いことが注目される。

「イベントなどに参加・盛り上げ」や「ボランティアなど地域の活動に参加」では中学生・高校生ともに女性の方が高い割合なのも興味深い。

前回調査（令和元年）での結果との比較では、「地元で買物・施設を使う」が今回1位であるが前回からは比率を減らしており、「イベントなどに参加・盛り上げ」や「ボランティアなど地域の活動に参加」、「下松に住む、下松で働く」も同様である。逆に、前は6位であった「郷土愛を持ち続ける」は割合を上昇させ、今回2位に大きく浮上している。

### 時系列比較



この設問では、選択した回答について具体的な考えがある場合にはその記述も求めている。記述回答の総数は178件であった。

そのうち、各選択肢における代表的なものを次にページ抜粋して示す。(原文のまま)

### 具体的な意見（代表的なもの）

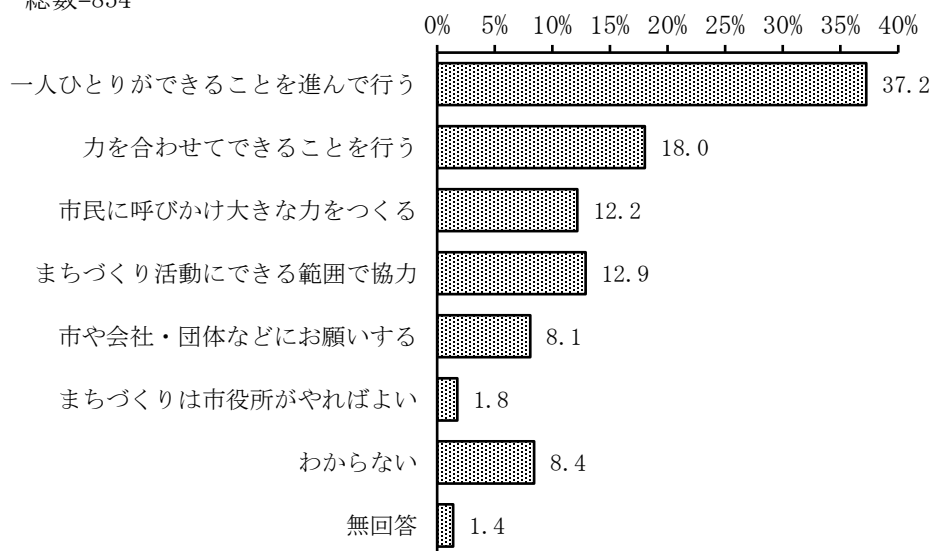
1 郷土愛を持ち続ける	市外へ行っても時々、下松市の笠戸ひらめや笠戸レモンなどの特産物にふれていきたい。	高校・男
	ふるさと納税制度はかなり積極的に参加する。	高校・男
2 下松の情報・魅力を発信・PR	インスタなどでオススメの店をしょうかいする。	高校・男
	下松の魅力や楽しさを SNS で発信。	高校・男
	専用のホームページを開設したり TIKTOK で動画を投稿する。	高校・男
3 日本や世界で活躍し名を高める	Vtuber、YouTuber になる。	高校・男
	バスケットボール選手になって下松を広める。	高校・男
4 地元で買物・施設を使う	下松だけしか売っていない美味しい食べ物を買うなど、下松をめぐってみたい。	高校・男
	できるだけ食材などは地元で買い物をして、みんなに料理をふるまってみる。	高校・男
	ゆめタウンやサンリブなど、下松市の施設で買い物をする。	高校・男
5 イベント等に参加・盛り上げ	イベントに友だちや家族と一緒に参加する。	高校・男
	きつねの嫁入りやボランティアに積極的に参加する。	高校・男
	地域のイベントや行事になるべく参加して人々と盛り上げたい。	高校・男
6 ボランティア等の活動に参加	学校で募集しているボランティアに積極的に参加していき、地域を盛り上げる仕事がしたい。	高校・男
	草刈りなど地域の人のためになることをする。	高校・男
	ゴミ拾いボランティアなどは、自分にもできると思う。	高校・男
7 仲間と地域に役立つ活動	子どもの見守りボランティアや、高齢者が車道を横切るのを防止する。	高校・男
8 下松に住む・下松で働く	下松の企業などで働いて、下松市をもっと盛り上げる。	高校・男
	将来自分のお店を下松にもちたい(かもしれない)。	高校・男
9 下松で起業し発展に貢献	新しいレジャー施設をつくる。	高校・男
10 人材を下松に残す	部活の後輩などを教えたりする。	高校・男
11 意見を市役所等に言う	それぞれの思っていることを言えば、改善点がわかる。	高校・男
12 その他	外国の人たちにも下松を知ってもらおうと良いです。	高校・男

(2) 市民がすべきまちづくりの行動

問7 まちづくりのために、それぞれの市民はどのようなことをするべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号を口の中に記入してください。

- 〔選択肢〕
1. 一人ひとりができる小さなことをどんどん進んで行く。
  2. グループや地域の人集まりなどで力を合わせてできることを行う。
  3. 多くの市民に呼び掛けて、市全体で行動する大きな力をつくる。
  4. 市などが行うまちづくり活動に対してできる範囲で協力する。
  5. 市やいろいろな会社・団体などに、してほしいことをお願いする。
  6. まちづくりは市の仕事で、市役所がやればよい。
  7. わからない。

総数=854



協働のまちづくりに対する中学生・高校生からの視点を探るための設問である。

選択肢の中では「一人ひとりができることを進んで行く」が最も多く、「グループや地域で力を合わせてできることを行う」がこれに次ぎ、他力本願ではなく自らが個人あるいは

グループで行動する姿勢を強く見せていることが心強いと言える。

この上位2項目の選択割合は、高校生よりも中学生で比較的高く、特に中学生の女性での割合が高いことが興味深い（高校生では男性の方が高い）。

	進で一人ひとりができることを行う	力を合わせてできることを行う	市民に呼びかけ大きな力をつくる	まちづくり活動にできる範囲で協力	市や会社・団体などにお願いする	まちづくりは市役所がやればよい	わからない	無回答
(凡例)								
全体 (n)	(854)	37.2	18.0	12.2	12.9	8.1	8.4	
【中高別】								
中学 (470)		39.6	18.7	10.4	10.6	7.2	10.2	
高校 (384)		34.4	17.2	14.3	15.6	9.1	6.3	
【中高・性別】								
中学・男 (245)		40.4	15.9	10.2	10.6	5.7	12.7	
中学・女 (224)		38.8	21.9	10.7	10.7	8.9	7.6	
高校・男 (212)		37.7	16.0	13.7	11.3	9.9	7.5	
高校・女 (171)		29.8	18.7	15.2	21.1	8.2	4.7	

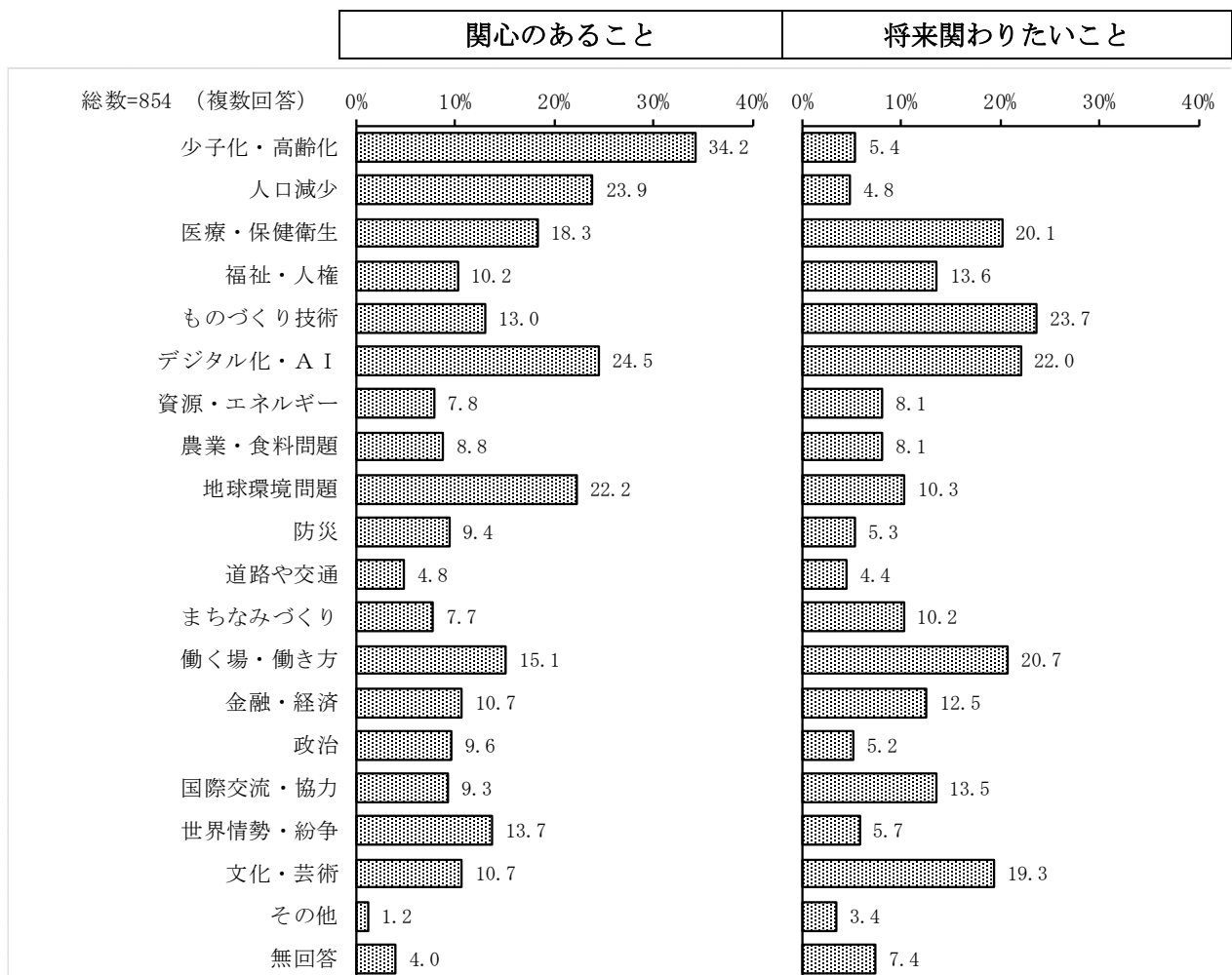
### 3. 社会経済問題への関心や関わりの希望

問8 あなたは、今の地域、日本、世界のさまざまな動きや問題の中で、特にどのようなことに関心がありますか。また、将来どのようなことに関わっていきたいと思いますか。次の中からそれぞれ3つまで選んで番号を口の中に記入してください。

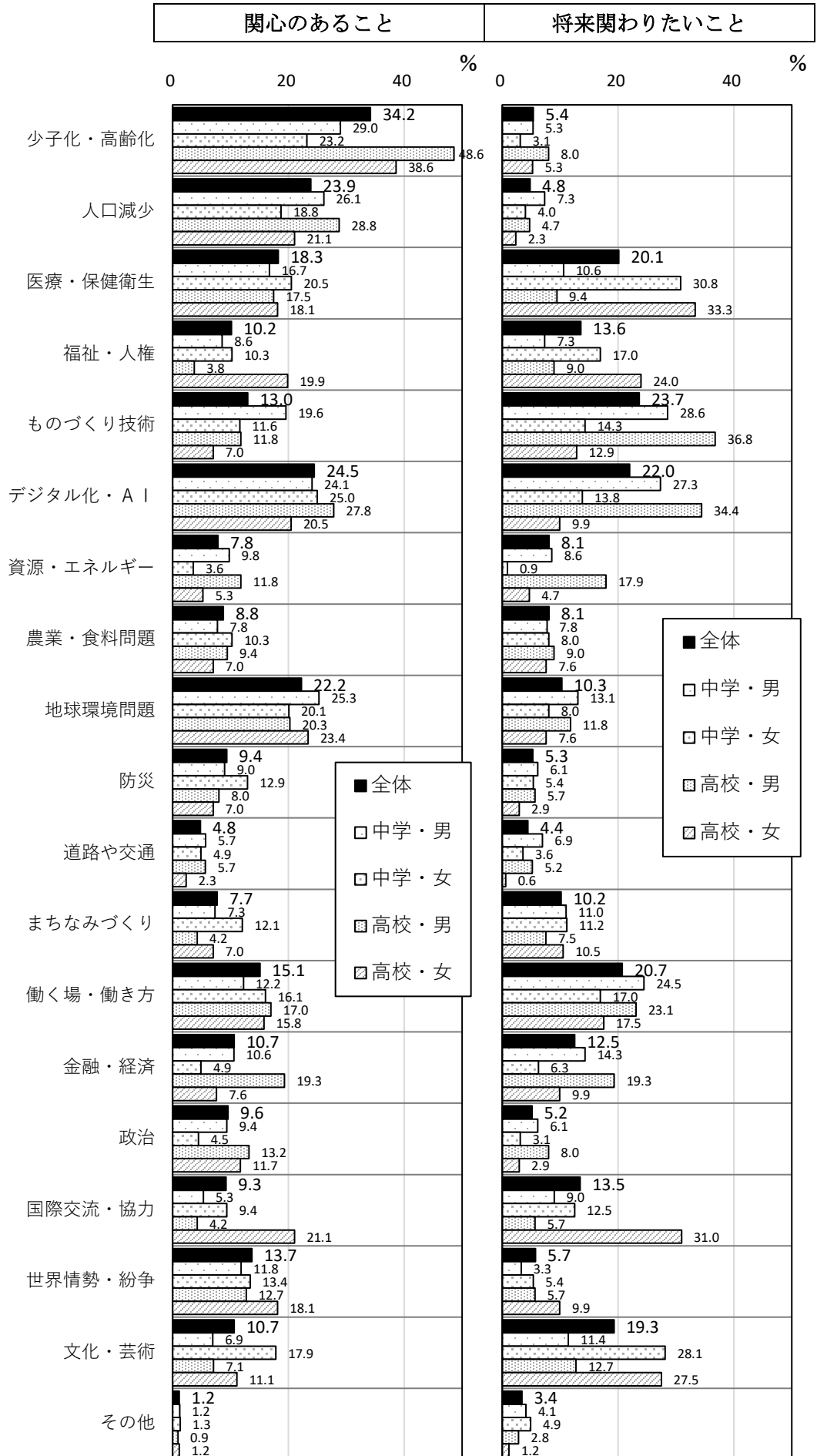
- |             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 少子化・高齢化  | 2. 人口減少     | 3. 医療・保健衛生  | 4. 福祉・人権    |
| 5. ものづくり技術  | 6. デジタル化・AI | 7. 資源・エネルギー | 8. 農業・食料問題  |
| 9. 地球環境問題   | 10. 防災      | 11. 道路や交通   | 12. まちなみづくり |
| 13. 働く場・働き方 | 14. 金融・経済   | 15. 政治      | 16. 国際交流・協力 |
| 17. 世界情勢・紛争 | 18. 文化・芸術   | 19. その他     |             |

社会経済の問題に関する上記19の選択肢から、今の自分が関心あること、将来関わりたいことの2側面で3つまでの選択を求めている。

今関心あることでは「少子化・高齢化」が最も多く、これに「デジタル化・AI」、「人口減少」、「地球環境問題」、「医療・保健衛生」の順で続く。一方、将来関わりたいことでは、「ものづくり技術」、「デジタル化・AI」、「働く場・働き方」、「医療・保健衛生」、「文化・芸術」の5項目が20%前後で並び上位グループを形成している。関心あることで上位の「少子化・高齢化」や「人口減少」は、将来関わりたいことでの割合がかなり少ないことが興味深い。



中高・性別



関心あることで首位の「少子化・高齢化」は特に高校生での割合が高い。また、「ものづくり技術」、「デジタル化・AI」や「資源・エネルギー」等の割合は、将来関わりたいことで中高とも特に男性で突出している一方、「医療・保健衛生」では中高とも特に女性での割合が非常に高いことが特徴的である。「文化・芸術」も今関心あること、将来関わりたいこと共に女性の割合の高さが目立ち、「国際交流・協力」や「世界情勢・紛争」も特に高校生女性での割合が相対的に高いという特徴が見られる。

「その他」の 主な記述	関心のあること		将来関わりたいこと	
	宇宙開発。	高校・女	音楽。	中学・女
教育（保育士）。	中学・女	教育（保育士）。	中学・女	
吹奏楽。	中学・女	スポーツ関連。	中学・男	
		野良犬、野良猫。	中学・女	
		ファッション。	高校・男	

この設問では、具体的な関心の内容で書けることがあれば記入を求めており、「なし」の記入を除いて 37 件の記入があった。その一覧を次ページに示す。

現実の問題意識から将来の夢まで、記述内容は様々である。

具体的な関心の内容（記述回答一覧）（全数）（原文のまま）

少子高齢化問題を改善する。	高校・女
少子高齢化を止める方法。	高校・女
医学が発展してすごいと思っている。	中学・男
医療。	中学・女
地域ごとに行っている医療について。	高校・女
将来、中学生までの医療費が無料ではなくなるかもしれないから。	中学・男
助産師が減っていること。	中学・女
お金問題で高齢者の人が働かなければいけない状況や、交通が不便で自分で高齢者が運転しなければならない点。	高校・女
お年寄りが楽しく過ごせるようなイベントをつくる。	高校・女
年金問題による若者の負担。	高校・男
仕事のデジタル化。	中学・女
AIによって、自分たちの仕事が奪われていくこと。	高校・女
デジタル化でAIの発達により数年後にはいくつかの仕事がなくなっていると予測されているから、そのことについて関心がある。	中学・女
デジタル化を高齢者の方にも広める。	高校・女
プログラミングやIT関係の仕事に就きたいです。	高校・女
7, 再生可能エネルギーの使用率の変化。17, 戦争がどこまで大きくなるのか、いつ終わるのか。	高校・男
環境がとてもこわされているということ、よく目にします。	中学・男
環境問題について考えたい。	高校・男
2, 住みやすい生きやすい環境を。13, 男性女性関係なく(ジェンダーレス)。	中学・男
道路や交通の整備ができています。	中学・女
この国をかえるのは、12~15あたりではないかと。ダメだと思っているから。	高校・男
働く場所が決められるのがとてもよい。	中学・女
市役所で働きたい。	高校・女
新NISAや株に興味、関心がある。	高校・女
今のままで日本は大丈夫なのかという思いがあり、政治に参加してみたいと思う気持ちはある。	高校・男
税金が何に使われているのか知りたい。	高校・男
大統領になります。	高校・男
裏金問題。	中学・男
うら金。	中学・男
国際交流が増えると、外国人・観光客も増えると思う。	高校・女
世界のことについて日本と何が違うのか興味がある。交通の面でもっと発展してくれればいいと思う。	中学・女
科学にまつわる仕事したい。戦・紛争をなくしていきたい。	中学・男
吹奏楽をもっと発展させたい。	高校・女
日本のカルチャーを、世界に発信し新たな資源にしたいです。	高校・女
自国民、他国民ともに動物も含め、真の幸せを手に入れること。	高校・女
心理学。	高校・男
どういふふうなことがあるのかを体験したいです。	中学・女

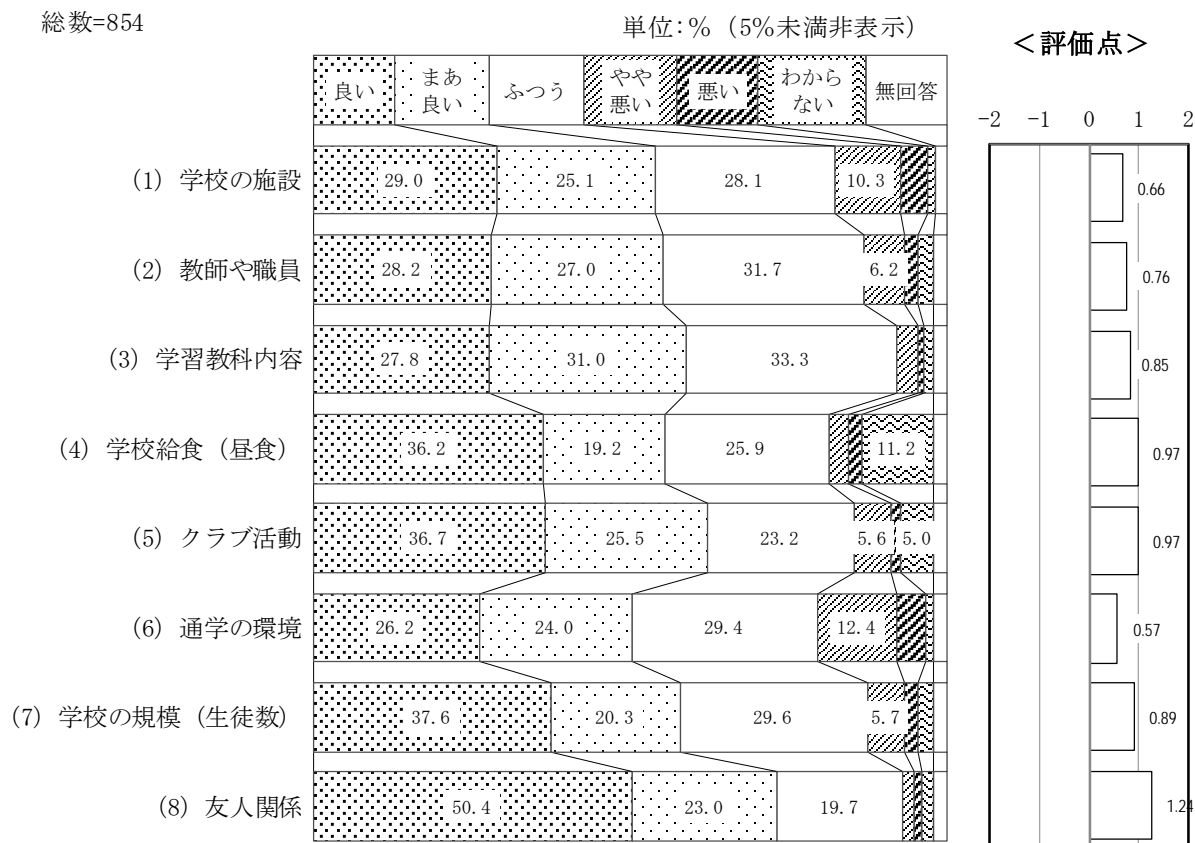
## 4. 学校生活や通学等の環境

問9 今の学校での学習・学校生活・通学などの環境について、どう思いますか。次の項目ごとにあてはまる回答の番号を1つずつ選んでその番号を○で囲んでください。

(1) 校舎や体育館など学校の施設	(2) 教師や職員
(3) 学習教科内容	(4) 学校給食（昼食）
(5) クラブ活動	(6) 通学の環境
(7) 学校の規模（生徒数）	(8) 友人関係

学校での学習や通学も含めた環境等に関する上の8項目について、その評価を5段階で求めたものであるが、いずれの項目も「良い」と「まあ良い」を合わせた割合が、「わからない」と無回答を除いた全体の半数以上を占めている。特に「友人関係」では「良い」と「まあ良い」を合わせた割合が73.4%で、「やや悪い」や「悪い」とする回答はわずかである。

総数=854

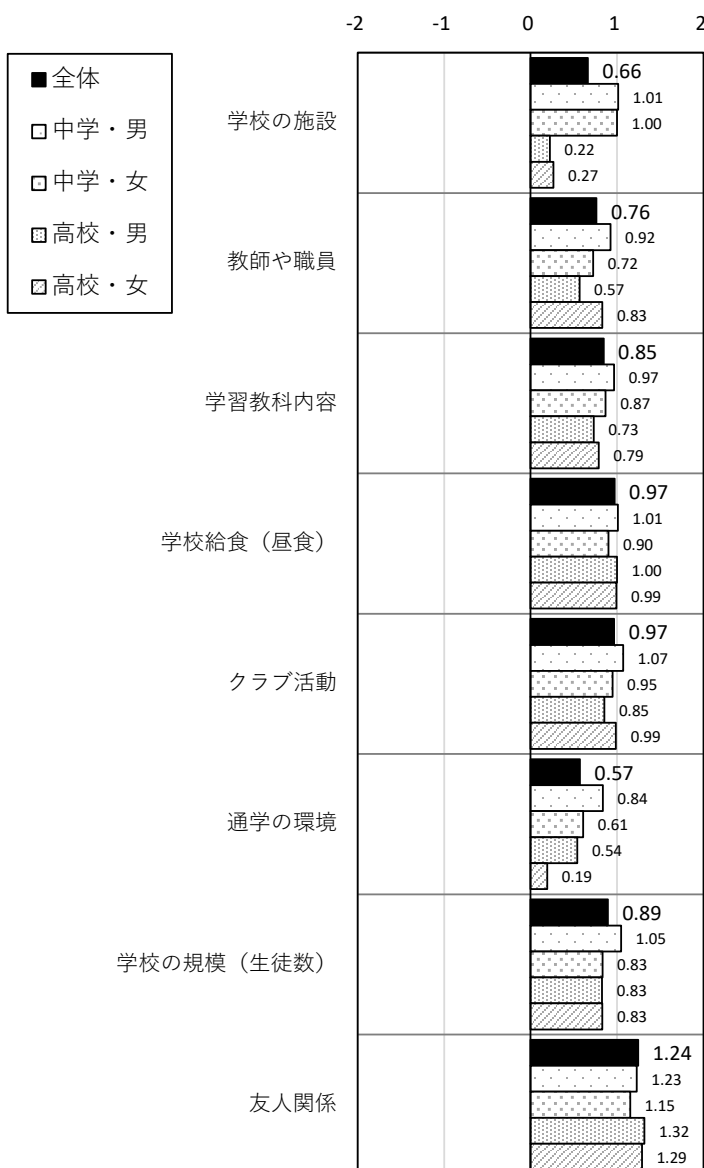


評価点： 「良い」 = 2点、「まあ良い」 = 1点、「ふつう」 = 0点、「やや悪い」 = -1点、「悪い」 = -2点として、回答数（無回答、「わからない」を除く）で加重平均した値

この結果、上の基準で算出した評価点（平均的な評価）はいずれもプラスで、「友人関係」の評価点が最大、「通学の環境」の評価点が最も低いがそれでも0.57である。

	全体	良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い	わからない	無回答	評価点
(1) 学校の施設	854 100.0	248 29.0	214 25.1	240 28.1	88 10.3	37 4.3	10 1.2	17 2.0	0.66
(2) 教師や職員	854 100.0	241 28.2	231 27.0	271 31.7	53 6.2	19 2.2	21 2.5	18 2.1	0.76
(3) 学習教科内容	854 100.0	237 27.8	265 31.0	284 33.3	28 3.3	8 0.9	14 1.6	18 2.1	0.85
(4) 学校給食（昼食）	854 100.0	309 36.2	164 19.2	221 25.9	26 3.0	19 2.2	96 11.2	19 2.2	0.97
(5) クラブ活動	854 100.0	313 36.7	218 25.5	198 23.2	48 5.6	15 1.8	43 5.0	19 2.2	0.97
(6) 通学の環境	854 100.0	224 26.2	205 24.0	251 29.4	106 12.4	38 4.4	12 1.4	18 2.1	0.57
(7) 学校の規模（生徒数）	854 100.0	321 37.6	173 20.3	253 29.6	49 5.7	19 2.2	20 2.3	19 2.2	0.89
(8) 友人関係	854 100.0	430 50.4	196 23.0	168 19.7	16 1.9	10 1.2	16 1.9	18 2.1	1.24

### 中高・性別の評価点



中高・性別の評価の違いを評価点の比較によって見ると、「学校の施設」に関しては、中学生と高校生で大きな差がついており、校舎や体育館等の更新の有無や時期の相違が大きく表れていると言える。また、「通学の環境」でも、学校が身近で徒歩通学が多い中学生に対し高校生での評価が低くなっている。

このほかでは極端な差異は見られないが、「友人関係」では中学生よりも高校生での評価がやや高いように見える。

評価点： 「良い」＝2点、「まあ良い」＝1点、「ふつう」＝0点、「やや悪い」＝－1点、「悪い」＝－2点として、回答数（無回答、「わからない」を除く）で加重平均した値

特に悪いと思う項目があれば、その番号（1～8）を1つと具体的な内容を記入してください。

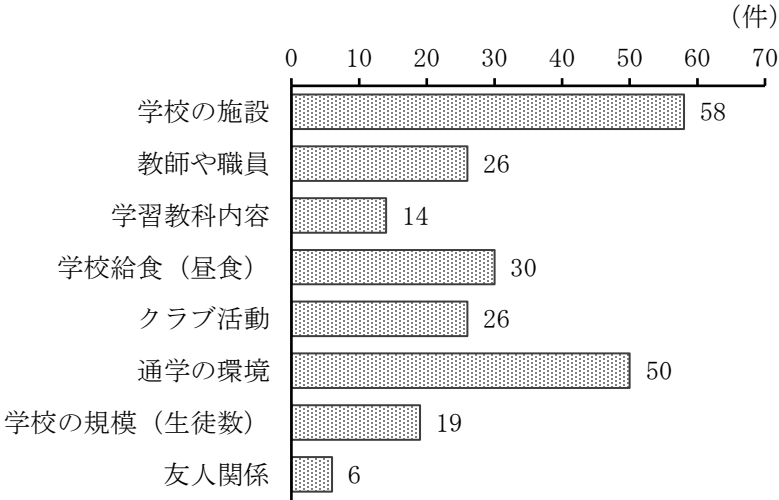
この設問では、上の8項目のうち、特に悪いと思う項目があればその項目番号と具体的な内容の記述を求めている。

特に悪いと思う項目として番号記入があった件数は229件であり、その番号別内訳は右図のとおりである。「学校の施設」と「通学の環境」に関するものが特に多い。

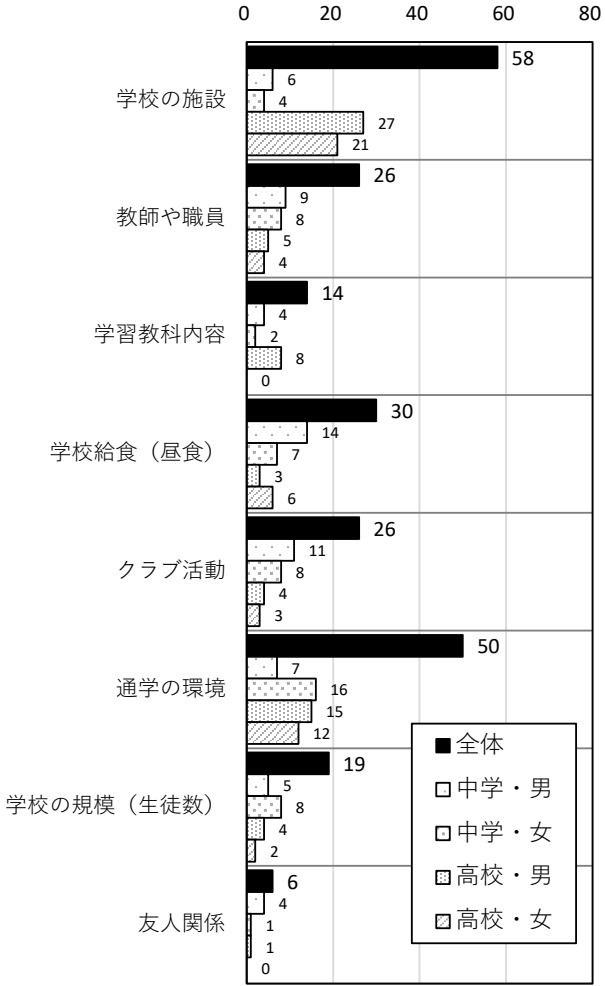
特に悪い項目としての指摘件数を中高・性別に見ると、「学校の施設」では、前述の評価点の相違に対応する形で高校生での指摘件数が多く、「通学の環境」でも高校生の指摘が多いが中学生の女性も多く記述している。「教師や職員」に関する記述は中学生の方がやや多い。

具体的内容の記述件数

項目	記述件数
1 学校の施設	58
2 教師や職員	26
3 学習教科内容	14
4 学校給食（昼食）	30
5 クラブ活動	26
6 通学の環境	50
7 学校の規模（生徒数）	19
8 友人関係	6
計	229



中高・性別の件数



具体的な内容の記述は、上表のように全体で229件あり、やはり「学校の施設」と「通学の環境」に関する記述が多い。ただし、記述内容と項目番号が整合していない回答も見受けられるため、この結果は正確性を欠く部分もある。

この記述回答のうち、各項目での代表的なものを抽出したものを以下に示す。「学校の施設」に関しては、特に高校での校舎施設等の老朽化を指摘する声が多く、「通学の環境」では、公共交通機関の不便さの指摘が目立っている。

具体的記述（代表的なもの）（原文のまま）

(1) 校舎や体育館など学校の施設

科学実習棟が古く危ない。	高校・男
校舎が古い。	高校・男
体育館が小さいこと。エアコンがないこと。	高校・女
テニスコートを増やしてほしい。	中学・女
トイレが汚い。	高校・男

(2) 教師や職員

教え方、授業の進め方が悪い。ただ進めているだけだったり、眠くなるような授業が多い。	高校・男
教師によって個人差が大きすぎます。優しく熱心に教えて下さる方もいれば、そうでない方も・・・。	高校・女
差別に似たようなことをしたり、意見を押し付けてくる教師がいて、とてもストレスです。	中学・女
授業が静かで盛り上がらなく、面白くない。	高校・男
暴言を言う先生がいる。	中学・女

(3) 学習教科内容

一時間に何ページも進めるから追い付けない。	中学・男
実習での説明が不足していて、何をしているかが理解できないことが多い。	高校・男

(4) 学校給食(昼食)

あきる。もっとバリエーションを増やすべき。	中学・女
学校給食があまりおいしくない。	中学・男
食べる時間が短い。	中学・男
似たような給食が出てくる。味がうすい。	中学・男

(5) クラブ活動

先生が未経験なので、教えてもらうことが出来ない。	高校・男
部活動の地域移行が生徒や顧問の先生の意見を聞かずに、勝手に進められていること。	中学・女
部活の活動、日数や時間が短い。	中学・男
もっと練習したいのに、地域移行のせいで時間が足りない。	中学・女

(6) 通学の環境

重い荷物を持って、長い坂を上り下りしなければならない。	高校・男
段差があるところがあつて、そこで自転車ごと転んだことがあるから。	中学・男
電車の本数が少ない。	高校・女
歩道がせまいところに小学生が通るのはとても危ないと思う。	中学・女

(7) 学校の規模(生徒数)

規模が大きく、行事の規模が大きくておもしろいが、制限されることも多いから。	中学・男
生徒数が少なくなっているように感じる。	高校・女
人が多すぎて一人一人に目を通していてくれているのか分からない。	中学・女

(8) 友人関係

いじめがある。	中学・男
---------	------

## 5. まちづくりの取組アイデア等

問10 もし、あなたが下松市長になったとしたら、下松市をより良いまちにしていくなために、どのような取り組みをしますか。アイデアがあれば、自由に記入してください。(どんな内容でも構いません。)

アンケートの最後に、自由な意見を、「もし市長になったら」という問いかけで、まちづくりのアイデアを、という形で求めている。

何らかの記述があったもの（「なし」、「特になし」等は除く）は398件で、これを、総合計画の分野分類を意識した区分で分類した結果は下表のとおりである。

ただし、ここでは、一人で複数の分野にまたがる記述がある場合でも分割はせず、主要な内容と判断される区分に分類しているため、分類内容別の件数は必ずしも正確ではない。

自由意見の内容分類別件数

分類	件数	分類	件数
高齢者・障害者福祉	4	広報・広聴	18
子育て支援	13	市民参加・協働	5
健康・医療	3	観光・レジャー	11
環境美化	32	イベント・祭	31
ごみ収集・処理	4	スポーツ	13
防犯・交通安全・安心	5	多文化共生・国際化	3
生活環境全般	6	情報発信	17
市街地・都市構造	3	シティプロモーション	15
道路（整備・維持管理）	18	人の交流	8
公共交通	13	情報化	4
自然・みどり	7	コミュニティ・ボランティア	11
公園・遊ぶ場所	16	行政運営・財政	9
駅やその周辺	4	各種施設（公・民）	26
工業	1	人口問題・少子化	5
商業・サービス業	37	人の心・意識	1
雇用・労働	5	良いまちに（総合的に）	11
産業全般	8	その他	4
学校教育	21	計	398
学習の場	3		
文化	3		

内容としては、ゴミ拾いなどの「環境美化」に関するものや、「イベント・祭」の開催に関するもの、人が集まる「各種施設」の整備などが多い。

次ページ以下に、各分類の主な意見を抽出して示す。(原文のまま)

## 自由回答（まちづくりの取組アイデア）の主な記述

### ◆高齢者・障害者福祉

高齢者の方と学生がふれ合えたり、高齢者施設や家に訪問できたりするイベント。	中学・女
小中学校の給食費無償化など、今まで以上に子育て支援を行う。要介護の高齢者の方や、障がいのある方が外出したいと思った時に、直ぐに出来るように、介護タクシーを利用しやすくする。	高校・女

### ◆子育て支援

学生割引がほしい。（50%オフ。）	中学・男
少子高齢化の対策として子どもを持つ家庭を支援する。（補助金や医療費、教育費など。）	中学・男
小さい子どもがすくすく育つことができ、かつ親が負担なく育児が出来るようにする。	高校・女

### ◆健康・医療

ごはんを栄養バランスよく食べられない子や大人が、市役所に行ってお願いしたら、無料でインスタントの栄養の良い食べ物をくれる制度。	中学・女
全ての人の医療費を免除する。	高校・女

### ◆環境美化

下松市は自然が豊かでとてもきれいです。しかし、ポイ捨てのゴミがとても多いため、そのゴミで自然が汚れないよう、ポイ捨てをしないといけないという呼びかけや、ゴミ拾いなど取り組みをしたいです。	中学・女
ゴミ拾い。	中学・男
ポイ捨てを少なくするために、ゴミ箱を所々に設置する。	高校・男

### ◆ごみ収集・処理

下松の名産品をゴミの回収量に伴い、プレゼントする。	中学・女
ゴミ袋を一種類に統一します。草刈りボランティアを募集します。	中学・男

### ◆防犯・交通安全・安心

警察の見回りを増やしたり、危険にすぐ対応できるような町づくりを行いたい。	中学・男
・外灯を整備する。・通学路の安全について取り組む。	高校・女

### ◆生活環境全般

市全体での防災訓練をしたりする。	中学・女
・環境に配慮しながら下松市を盛り上げる。	高校・男

### ◆市街地・都市構造

下松市は良い町だと思いますが、栄えている所とない所の差が大きい。笠戸の方とか行くと、古びた建物がたくさんあって、事情などあるのかもしれないけど、有効活用できるかなと思った。	高校・男
--	------

### ◆道路(整備・維持管理)

道路のでこぼこが多いように感じるので、できる範囲で整備してほしいです。	中学・女
学校や道路の整備をして、登下校が安全に行えるようにする。	高校・女
自転車事故を減らすために、自転車専用道路を増やしたり、減速しなくてはならない道を作る。	高校・女

### ◆公共交通

もっと地域を活性化させるためにも、電車の便を増やして、たくさんの方が利用できるようにし、いろいろな所に行き来できるようにしたい。	中学・女
バス停の数を増やす。ゆめタウンを中心に様々な施設を充実させる。	高校・男

### ◆自然・みどり

このままの環境保護をし、緑が多い町にしたい。緑を通じて笑顔の溢れる町を維持したい。	中学・男
自然を活かした地域での取り組み。	中学・女

### ◆公園・遊ぶ場所

公園の遊具を新しくする。テーマパークのような場所をつくる。	中学・女
外で遊びたいと思えるように、芝のグラウンドをつくったりしたらいいと思います。	中学・男
公園などの遊び場を広げる。	中学・女

### ◆駅やその周辺

駅前をもっとにぎわうようにする。	高校・男
下松駅と市全体のアクセスが分かりづらく、遠くから来た人が「観光」という目的では来づらいと思うので、駅付近にまずは他県や市から来たいと思えるような店を増やす→交通の便やレンタル自転車なども活用して、市全体に繋げる。	高校・女

◆工業

ハンマーで車体の顔をつくる仕事に、若い人の人材を取り入れる。農業を発展させる。	中学・男
---	------

◆商業・サービス業

大型店をどんどん建てていく。下松に人をさそい込む。	中学・男
米川など人口が少ない所でも年配の方々が過ごしやすいように、お店等を増やしていく。	中学・女
どの年代でも楽しめるような商業施設を開発する。	高校・女

◆雇用・労働

時給UP、もっと笠戸島を活かしたまちづくり。	中学・男
最低賃金を上げたい。学力向上（全国上位）。働ける場所を増やす（工業系）。他県から人が集まる場所にする。	高校・男

◆産業全般

この日だけ地産地消の日を設けて、食料自給率を上げる。若者にとどまってもらえるように、カフェやリゾート地をつくり、さらにSNSを大いに利用して町の宣伝をしていくべきだ。	高校・女
今のままでは住宅地といった印象がかなり強いままだと思う。またそのイメージでは将来衰退してしまうと思う。なので早めに方針の転換の準備をする。ただ、今の状態だと観光などよりは、新しい事業、例えば情報産業の誘致か、自動運転車サービスがよいと思う。特に火力発電所の跡地を活用することで、ある程度の規模の工場の誘致を行う。また今行われている自動運転やドローンなどの試験会場として提供していけばいいと思う。	高校・男

◆学校教育

部活動の時間を減らさず、移行先や運営が確定してから移行するようにする。	中学・女
・自習室をつくる。・給食を無料にする。	中学・女
学校と地域の関りを増やす。SNSを使って下松市をPRする。	高校・女

◆学習の場

もっと高校生や中学生が、来たがるように遊ぶところをつくったり、ゆっくり勉強できるところをつくったりすると、人が集まるんじゃないかと思います。	高校・男
--	------

◆文化

・古墳を活用して観光客を増やす。・下松でイベントを開く。	中学・女
伝統的なまつりの支援。	高校・女

◆広報・広聴

下松市民全員にやってほしいことを聞いて、実際に取り入れることをしてみたい。	中学・男
「おなやみBOX」市民の困っていることや、気になること、なんでも質問できるもの・場所をつくる。	中学・男
自分自身が下松市内の学校や公共施設に出向くことで、下松市の現在の実態を知ろうとする。そして意見を聞いて活かせることを探す。	高校・女

◆市民参加・協働

市全体の協調性をつくるために、小さなコミュニティをつくり、そこで意見を出し合い行政での取り組み内容の一つとして検討する仕組みを作りたい。	中学・男
市民と市役所が協力できる環境をつくる。	高校・女

◆観光・レジャー

アスレチックや遊園地などの、子どもが親と休日に来たくなるような施設を造る。	中学・男
下松市に遊園地など造って、若い人が下松市に来やすい市にする。	高校・女
大型レジャー施設をつくってもらおう。誰でも来やすいふんいきだと尚良し。	高校・男

◆イベント・祭

いろいろなイベントを企画して、市民の方に参加してもらおう。（体験ものを中心としたイベント。）	中学・女
市全体で大きな行事を行う。他校の人との交流の場を設ける。	中学・女
イベントを増やし、人々との交流の機会を増やす。	高校・女

◆スポーツ

もっとスポーツを盛んにして、県外からも人が来るようにする。そうすれば人口も増えると思う。	中学・男
ハンドボールをもりあげる。ハンドボールコートを増やす。	中学・男
夜になると恋路のグラウンドが暗すぎて、まともに部活出来なくなるので大型の照明をつけてほしい。恋路にある倉庫が古過ぎて、扉を開けたり閉めたりするのに時間がかかっているので取り替えてほしい。	高校・男

◆多文化共生・国際化

・外国人の方とふれあえるような場面をつくる取り組みをする。	中学・女
-------------------------------	------

◆情報発信

地域の特徴をアピールするようなCMをつくり、全国へ発信し移住者や観光客が増えるような取り組みをする。	中学・男
SNSなどで、下松市のいいところを世界中の人に見てもらえるようにする。	中学・男

◆シティプロモーション

ブランド品（地元の食べ物など）に力を入れて、県内や県外で売り出す。	中学・男
下松市をいろいろな人に知ってもらうには、SNSしかないと思います。下松市の公式アカウントをつくってどんどん発信していきます。あと、せっかくキャラクターがいるのにあまり活かされていない感じがするので、もっと上手に活用してあげたいと思います。	中学・女
ギネス世界記録に登録されるようなことをすれば、下松市も有名になる取り組みをする。鉄やひらめなどを使った世界記録をつくれればいいと思います。	中学・男
他の市にはない下松のシンボルになるような、市外の人たちが行ってみたいと思えるようなものをつくる。	高校・男

◆人の交流

老人や小さい子どもの壁がなく接していける施設を造ったらいいのではと思いました。	中学・男
みんなが交流できる機会を増やす。	高校・男

◆情報化

学校や職場のデジタル化。	中学・男
ネット環境を良くして、いつ、どこでも見ても使えるようにする。	中学・女

◆コミュニティ・ボランティア

あいさつ運動や、ゴミ拾いなど色々とボランティアに参加することを大切にする運動。	中学・女
ボランティア活動を増やして、地域交流を増やす機会をつくる。	高校・女

◆行政運営・財政

下松市の市役所の人や会社で働く人、中学生などいろんな人を集めて、より良い下松市にしていくための取り組みを、それぞれの立場で考え、話し合うような場を設ける。	中学・女
教育、医療に力を入れて、誰でも平等に良い教育、良い医療が受けられる町にしたいです。また困っていることを気軽に相談できる相談センターをつくりたいです。	中学・女

◆各種施設（公・民）

下松市全体で活動できる場所を増やす。前回、周南の文化会館で合同文化祭の開催式に参加したことが楽しかったです。もう一度あれば参加したいなと思います。	高校・女
自習室の席数を増やす。開いている時間を長くする。（午後10時まで等。）	高校・男
老人ホームと大人や小さな子どもたちが、たくさん遊べる場と徳山駅のような勉強スペースをたくさんつくり、老若男女が共存できる市をつかって、よりよい町にしたいと思います。	高校・男

◆人口問題・少子化

若い人が帰って来る町をつくる。働く場所をふやす。	中学・男
子どもが大人になった時に、どれだけ市外に流出させないかという点を重視する。そうすれば下松市の人口減少を抑制することや医療を充実させることができ、最終的には下松市の活気につながるから。	中学・男

◆人の心・意識

季節ごとにあいさつ運動を開いたり、下松市内でのマラソン大会などを開催する。	高校・男
---------------------------------------	------

◆良いまちに（総合的に）

民が幸せになれるようなアイデアを考えて、すぐに取り組みなくとも、できるだけすぐに取り組みめるような努力を上げ続ける。	中学・男
住みたいと思われるようにたくさんのお金を使う。	高校・男

## IV. 調査結果の総括

以上の調査結果について、各調査視点での要点を総括したものを以下に示す。

回答者の属性分布 ＜問1＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校のそれぞれ2年生が対象。</li> <li>・ 居住地区は末武地区が27.3%と最多。高校では市外が約半数。</li> <li>・ 通学の主な交通手段は、自転車が半数以上(51.6%)。高校男性では概ね5人のうち4人が自転車通学。</li> </ul>
下松市の住みよさ ＜問2＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせた好意的な回答が7割以上。市民アンケート結果よりかなり多いが、生まれ育ち馴染んだ市の住みよさを好意的に評価する傾向が強いためとも考えられる。</li> <li>・ 好意的回答の割合は前回調査より上昇。</li> </ul>
下松市の良いところ・悪いところ ＜問3＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良いところでは、「海や山の自然」（自然のきれいさ等）が半数以上の回答、これに「店舗」（大型店の多さなど）が続く。公園の多さや人の優しさ、ごみの少なさ等も良い点として多くあげられる。</li> <li>・ 悪いところでは、「店舗」（店舗数や規模への不満等）が1位で、その選択割合は35.1%と良いところでの選択割合よりも多い。さらに「交通の便」（バスや鉄道の運行本数の少なさ）、「清潔さ」（道路等でのごみの多さ等）の順で続く。</li> <li>・ 時系列では、「店舗」を良いとする割合が減少、逆に悪いとする割合が増加を続け、また「海や山の自然」を良いとする割合が徐々に増加。</li> </ul>
下松市への誇りや愛着 ＜問5＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「とても感じる」と「まあまあ感じる」を合わせたプラス評価の割合は62.3%。</li> <li>・ 中学生より高校生が低いが、市外在住者が半数程度いるため、市内各地区居住者では概ね全体傾向に近い。</li> <li>・ 「とても感じる」の割合は若干低下したが、プラス評価割合は逆に上昇。</li> </ul>
下松市への定住意向 ＜問4＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的居住希望（「卒業後も住み続けたい」と「市外に出ても戻ってきたい」の計）は34.4%。消極的居住希望（「必要があれば戻ってきてもよい」）は40.2%で、全体の約3/4が将来的に市内に居住する可能性。</li> <li>・ ただし、積極的居住希望の割合は、中学生に比べ高校生で大きく減少。</li> <li>・ 積極的居住希望の割合は前回調査から大きく変わらないが、消極的居住希望の割合が増加。</li> </ul>
まちづくりへの行動 ＜問6,7＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下松市のために自らができること、したいことは「地元で買物、施設を使う」、「郷土愛を持ち続ける」、「下松の情報・魅力を発信」、「イベント等に参加・盛り上げ」、「地域の活動に参加」、「下松に住む、働く」の6項目が上位グループを形成。</li> <li>・ 前回調査で6位の「郷土愛を持ち続ける」が今回2位に大きく浮上。</li> <li>・ 協働のまちづくりに対する中学生・高校生からの視点としては、他力本願ではなく自らが個人あるいはグループで行動する姿勢を比較的強く見せている。</li> </ul>
社会経済問題への関心や関わり希望 ＜問8＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今関心あることでは「少子化・高齢化」が最多で、「デジタル化・AI」、「人口減少」、「地球環境問題」、「医療・保健衛生」の順で続く。</li> <li>・ 将来関わりたいことでは、「ものづくり技術」、「デジタル化・AI」、「働く場・働き方」、「医療・保健衛生」、「文化・芸術」の5項目が上位グループを形成。</li> <li>・ これらは中高、男女で違いを見せている。</li> </ul>

<p>学校生活や 通学等の環 境 ＜問 9＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 項目の平均的な評価はいずれもプラスで、「友人関係」の評価点が最大。</li> <li>・ 「学校の施設」は、中学生と高校生で大きな差。校舎や体育館等の更新の有無や時期の相違が大きく表れる。</li> <li>・ 「通学の環境」でも、学校が身近で徒歩通学が多い中学生に対し高校生の評価が低い。</li> <li>・ 特に悪いと思う項目は「学校の施設」と「通学の環境」が多い（高校での校舎施設等の老朽化や公共交通機関の不便さ等）。</li> </ul>
<p>まちづくり の取組アイ デア等 ＜問 10＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ拾いなどの「環境美化」に関するものや、「イベント・祭」の開催に関するもの、人が集まる「各種施設」の整備などが多い。</li> </ul>